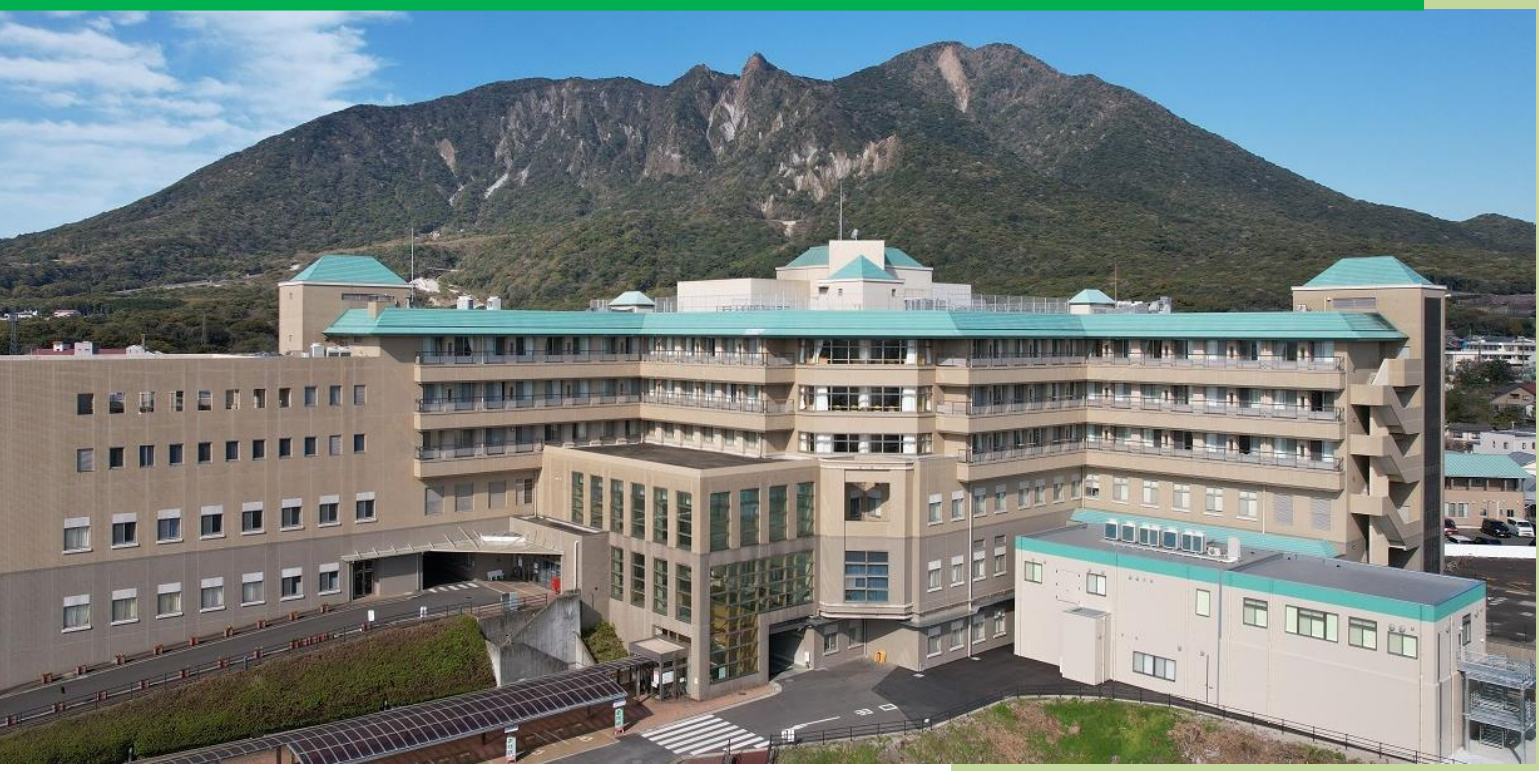
長崎県病院企業団

長崎県島原病院

2024

腫瘍集計報告



長崎県島原病院
NAGASAKI PREFECTURE SHIMABARA HOSPITAL

2024 年 1 月～2024 年 12 月

地域とともに、よりよいがん医療を

― 2024 年 院内がん登録から見える島原半島のがん診療 ―

562 件 2024 年 登録総数	**98.6%** 県南圏域の患者さん
72.9 歳 診断症例の平均年齢	**約 7 割** 当院で治療を提供

はじめに

このたび、2024 年の院内がん登録をまとめました。院内がん登録は、当院で診断・治療を受けた患者さんのがんの種類、治療、経過などを一定のルールに基づいて記録し、地域のがん診療の姿を客観的に捉えるための大切な基盤です。数字は単なる件数ではなく、一人ひとりの患者さんの診療の積み重ねでもあります。

2024 年の登録から見えること

2024 年の登録総数は 562 件で、男性 338 件、女性 224 件でした。部位別では大腸 144 件が最も多く、乳房 81 件、前立腺 67 件、肺 63 件、胃 44 件と続きました。登録総数は 2023 年の 577 件からやや減少しましたが、部位によって増減がみられます。診断時住所では 554 件（98.6%）が県南圏域で、島原市 297 件、南島原市 204 件、雲仙市 53 件でした。当院が島原半島のがん診療を支える地域の中核病院として、大きな役割を担っていることが改めて示されています。

高齢化する地域で、治療を届ける

2024 年診断症例の平均年齢は 72.9 歳でした。高齢化が進む地域では、がんそのものだけでなく、併存疾患、生活機能、通院手段、ご家族の支援なども含めて治療方針を考える必要があります。当院では、患者さんの状態や希望を踏まえ、多職種で連携しながら、その方にとって納得できる医療を提供することを大切にしています。

地域の医療機関との連携が、がん診療を支えています

来院経路では「他施設からの紹介」が最も多く、「他疾患の経過観察中」と合わせて全体の約 9 割を占めています。また、当院で初回治療を開始または継続した症例は全体の約 7 割です。日頃から患者さんを支えておられる診療所・病院の先生方との連携が、早期診断から治療、その後の療養までをつなぐ力になっています。

院内がん登録を、よりよい医療へ

院内がん登録の目的は、数字を集めることだけではありません。自院の診療を振り返り、地域の課題を知り、より安全で質の高いがん医療につなげることにあります。全国共通のルールで蓄積された情報は、国や県のがん対策、医療体制の整備、患者さんへの情報提供にも活用されます。本報告では、地域の特徴をより身近に感じていただくため、膵臓がんについても取り上げています。

結びに

がん診療は、病院だけで完結するものではありません。患者さん、ご家族、地域の医療・介護・行政の皆さまと情報を共有し、必要な医療を必要な時に届けることが重要です。長崎県島原病院がん診療センターは、これからも島原半島の皆さまに信頼されるがん診療の拠点として、診断、治療、療養支援、そして情報発信の充実に努めてまいります。この院内がん登録報告が、当院のがん診療を知っていただく一助となれば幸いです。

2026 年 10 月

長崎県島原病院　がん診療センター長　小幡 史郎

※院内がん登録は、個人情報保護に十分配慮し、法令・院内規程等に基づいて適切に取り扱っています。

目　次

腫瘍集計　2024

部位別登録件数 5

登録件数（全体・男性・女性） 6

部位別登録件数（全体） 6

部位別登録件数　上位5部位 7

症例区分 8

診断時住所別(県南区域) 9

年齢の割合 10

来院経路 11

2020～2024　年次推移 12

登録件数の推移 13

部位別登録件数の推移 13

診断時住所・部位別　3市（島原市・南島原市・雲仙市）の推移 15

男女別　年齢6階級別登録件数の推移 18

症例区分の推移 19

来院経路の推移 21

発見経緯の推移 24

膵臓がんについて 27

院内がん登録室より 30

部位別登録件数（562 件）

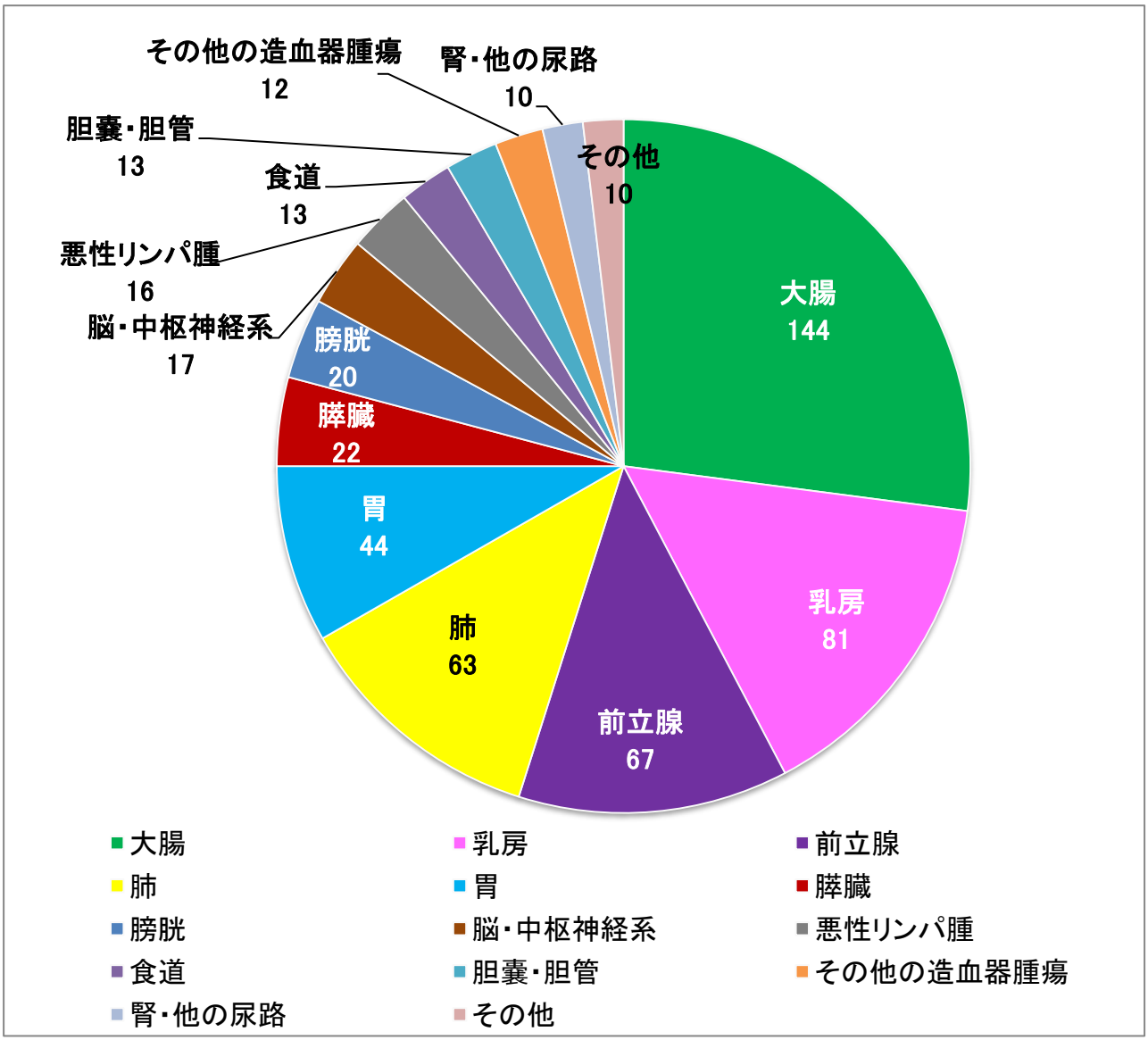
部位	ICD-O-3 部位コード	件数	%
口腔・咽頭	C00-C14	10 未満	--
食道	C15	**13**	(2.3%)
胃	C16	**44**	(7.8%)
結腸	C18	**108**	(19.2%)
直腸	C19-C20	**36**	(6.4%)
肝臓	C22	10 未満	--
胆嚢・胆管	C23-C24	**13**	(2.3%)
膵臓	C25	**22**	(3.9%)
喉頭	C32	10 未満	--
肺	C33-C34	**63**	(11.2%)
骨・軟部	C40-C41、C47、C49	10 未満	--
皮膚（黒色腫を含む）	C44	10 未満	--
乳房	C50	**81**	(14.4%)
子宮頸部	C53	10 未満	--
子宮体部	C54	**0**	--
子宮	C55	**0**	--
卵巣	C56	10 未満	--
前立腺	C61	**67**	(11.9%)
膀胱	C67	**20**	(3.6%)
腎・他の尿路	C64-C66、C68	**10**	(1.8%)
脳・中枢神経系	C70、C71、C72、 C751-C753	**17**	(3.0%)
甲状腺	C73	10 未満	--
悪性リンパ腫	759-972 974-975	**16**	(2.8%)
多発性骨髄腫	973、976	10 未満	--
白血病	980-994	10 未満	--
他の血液	C421、995-998、999	**12**	(2.1%)
その他		**10**	(1.8%)
合計		**562**	

※**緑色数字**は、ICD-O-3 形態コード

登録件数（全体・男性・女性）

	件数	%
全体	562	
男性	338	（60.1%）
女性	224	（39.9%）

部位別登録件数（全体）

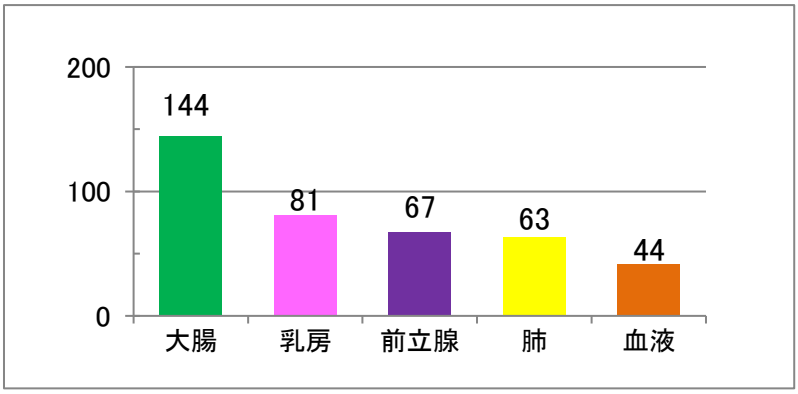


2023 年と比べ、2024 年は減少しました。
増加しているがんもあれば、減少しているがんもありばらつきが見られました。
当院は婦人科がないため、婦人科がんの登録はほとんどありません。

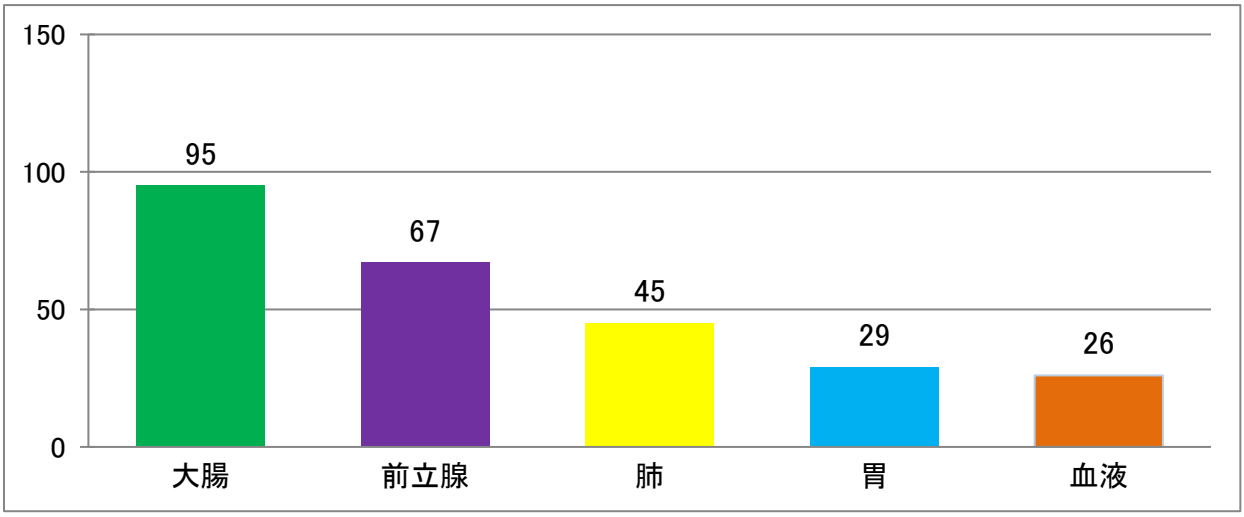
部位別登録件数　上位5部位

部位別登録件数（全体）

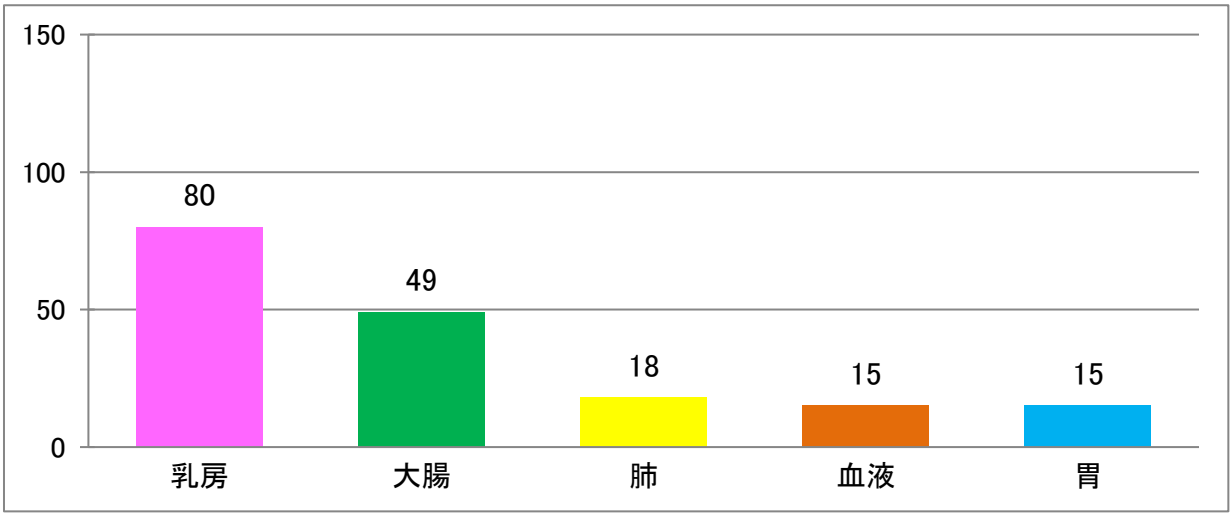
順位	部位名	件数
1	大腸	144
2	乳房	81
3	前立腺	67
4	肺	63
5	血液	44



部位別登録件数（男性）



部位別登録件数（女性）

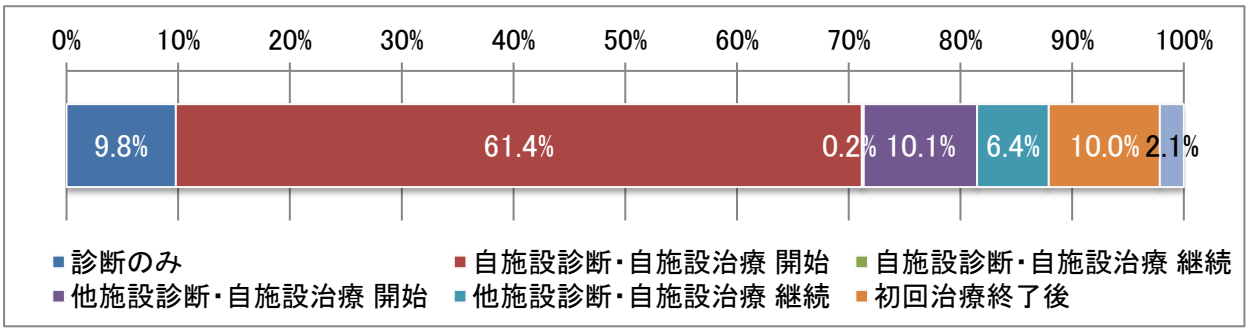


症例区分

症例区分とは:
がん診療連携拠点病院が、がん診断から再発までの一連の治療の流れで、主にどのような役割を担っているかを推測するための項目です。

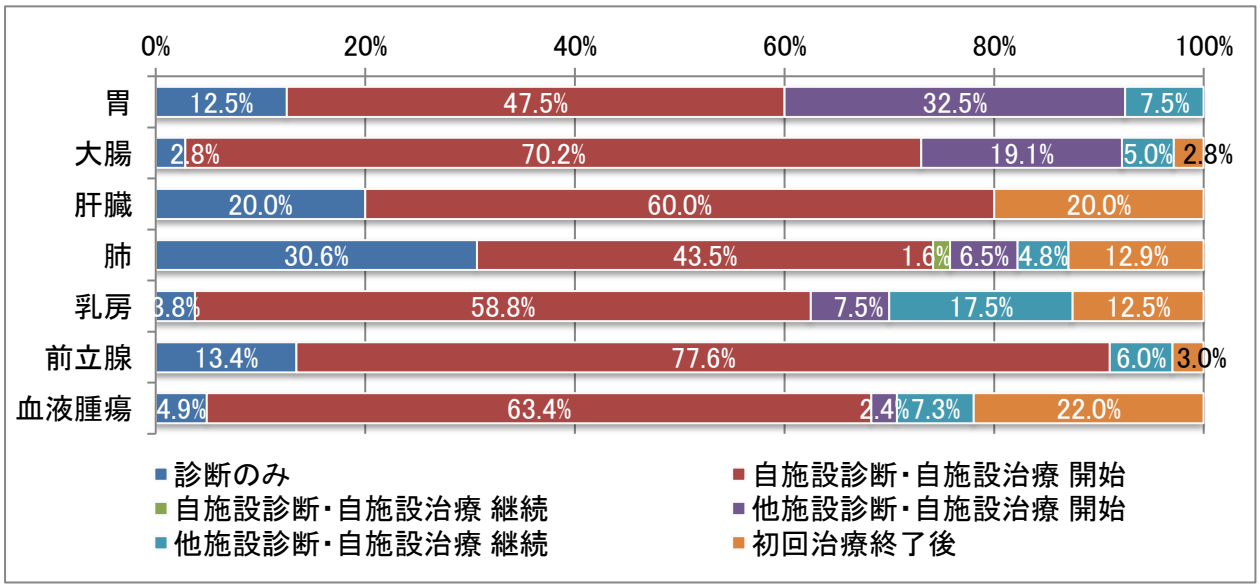
■**診断のみ**･･･自施設で診断したが、治療の施行は他施設へ紹介・依頼。
■**自施設診断・自施設初回治療開始**･･･自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始。
■**自施設診断・自施設初回治療継続**･･･自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施。
■**他施設診断・自施設初回治療開始**･･･他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始。
■**他施設診断・自施設初回治療継続**･･･他施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施。
■**初回治療終了後**･･･他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療は問わない。
■**その他**･･･上記のいずれにも分類できない場合。他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行わず、他施設へ紹介した場合も含まれる。

症例区分(全体)



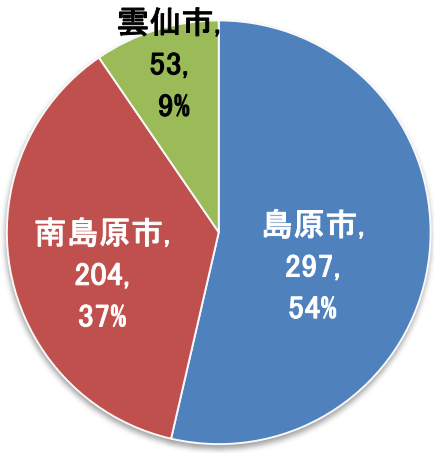
「当院で診断し治療した」と「他院で診断し治療した」を組み合わせた件数は 402 件約 7 割の方に治療を提供しています。

症例区分(部位別割合)

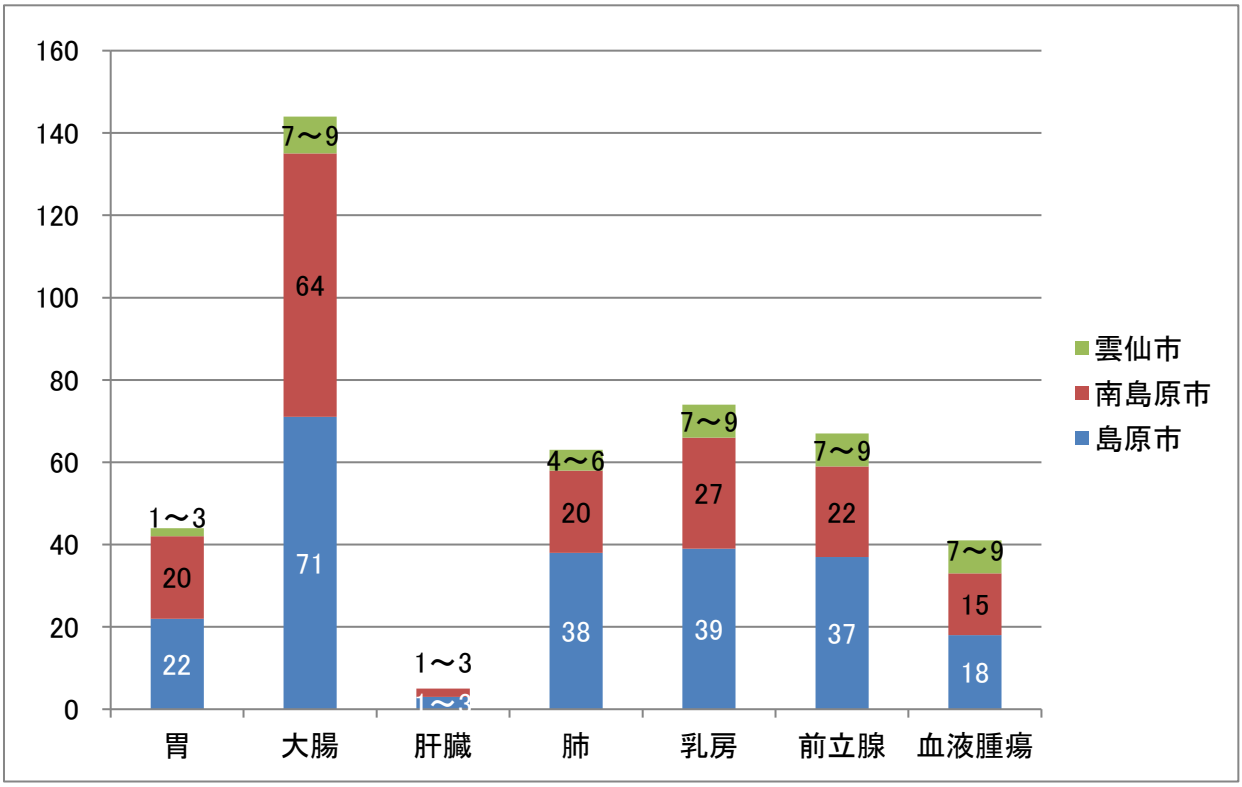


診断時住所別（県南区域）

医療圏域			市町村	
医療圏域	登録件数	%	市町村	登録件数
県南圏域	554	98.6%	島原市	297
			雲仙市	53
			南島原市	204
長崎圏域	1～3	0.4%	その他	8
県央圏域	1～3	0.4%		
長崎県外	4～6	0.7%		
合計				562

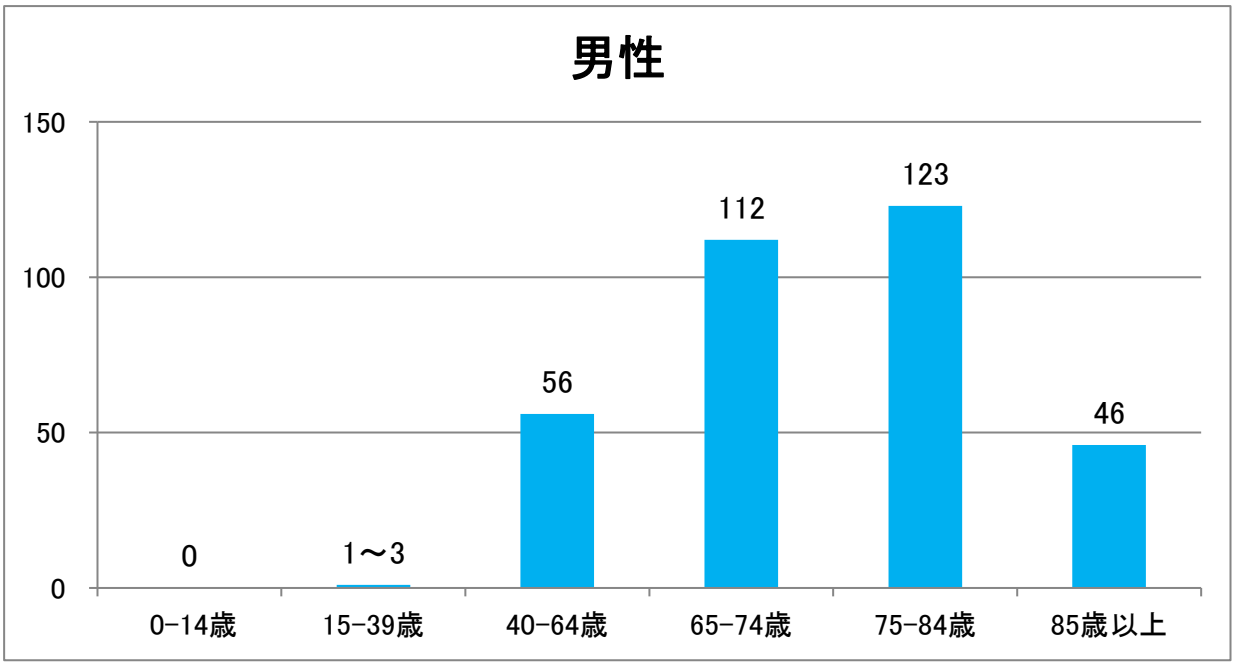


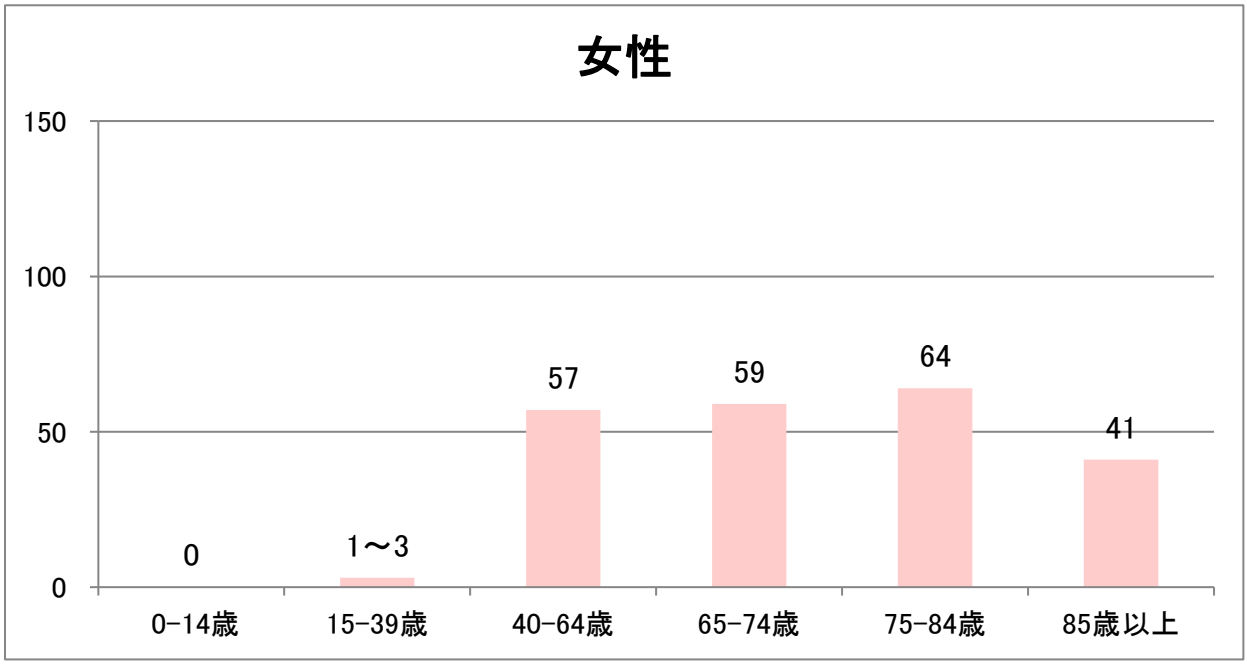
診断時住所　部位別



年齢の割合

男女別　年齢 6 階級別登録件数





当院の 2024 年診断症例の平均年齢は 72.9 歳で、男性で 73.8 歳、女性で 71.7 歳でした。

来院経路

来院経路とは:

がん患者さんがどのような経路によって自施設を受診したのかを把握するための項目です。

■自　主　的　受　診・・・・・・がん患者が、他施設の紹介等ではなく、自主的に自施設を選択して初診した場合

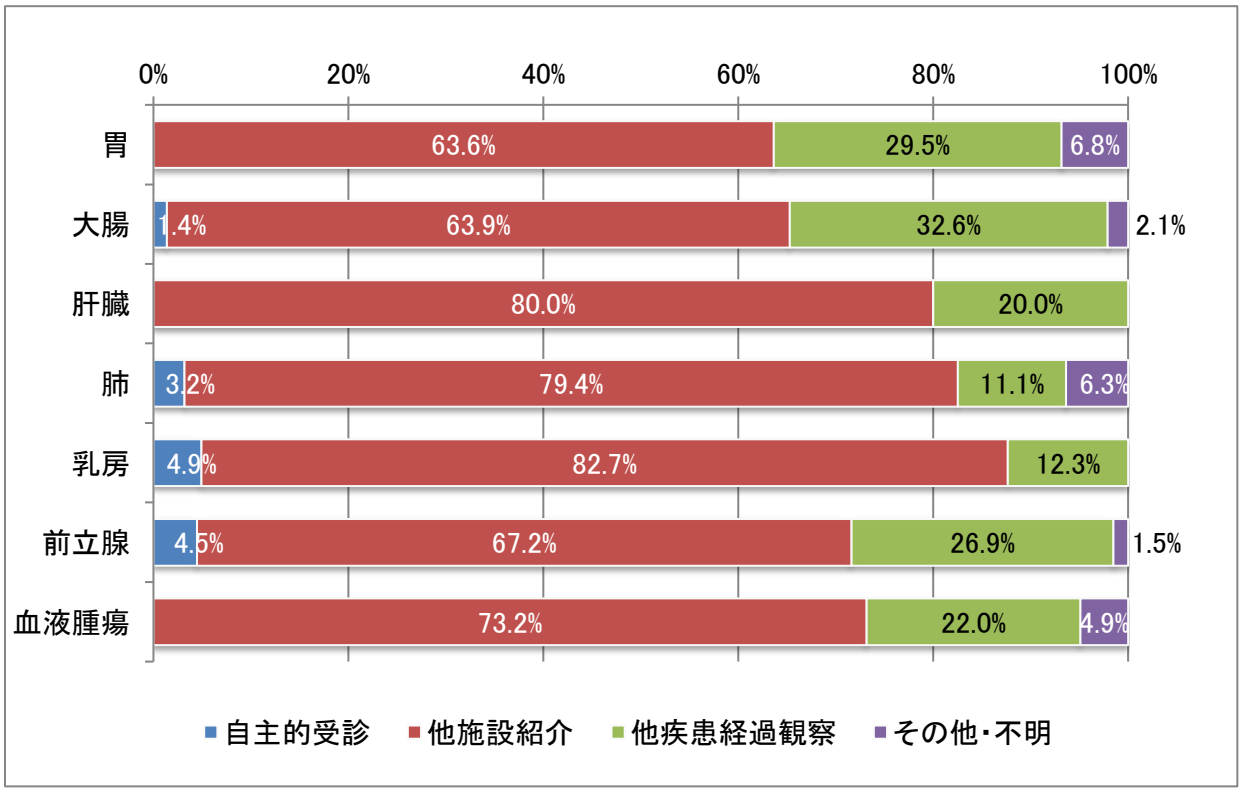
■他　施　設　か　ら　の　紹　介・・・・・・他の施設からの紹介で、初診した場合

■自施設での他疾患経過観察中・・・・・・自施設で他疾患により経過観察中に、がんと診断あるいはがんと疑われた場合

■そ　の　他・・・・・・上記にあてはまらないもの。剖検で発見された場合、救急車を含む。

■不　明・・・・・・診断にいたる発端が不明の場合

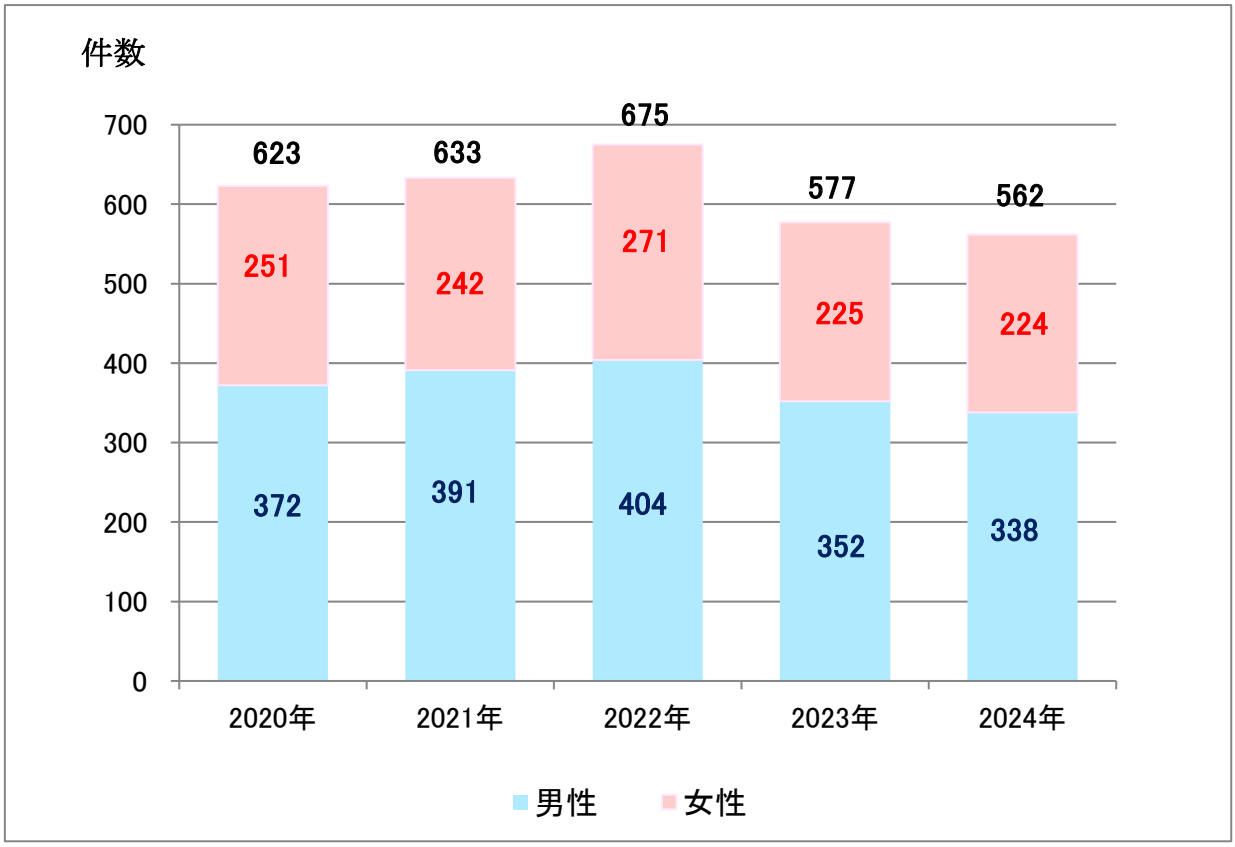
部位別



最も多いのは他施設紹介、次いで他疾患経過観察でこの 2 区分で全体の 9 割を占めています。

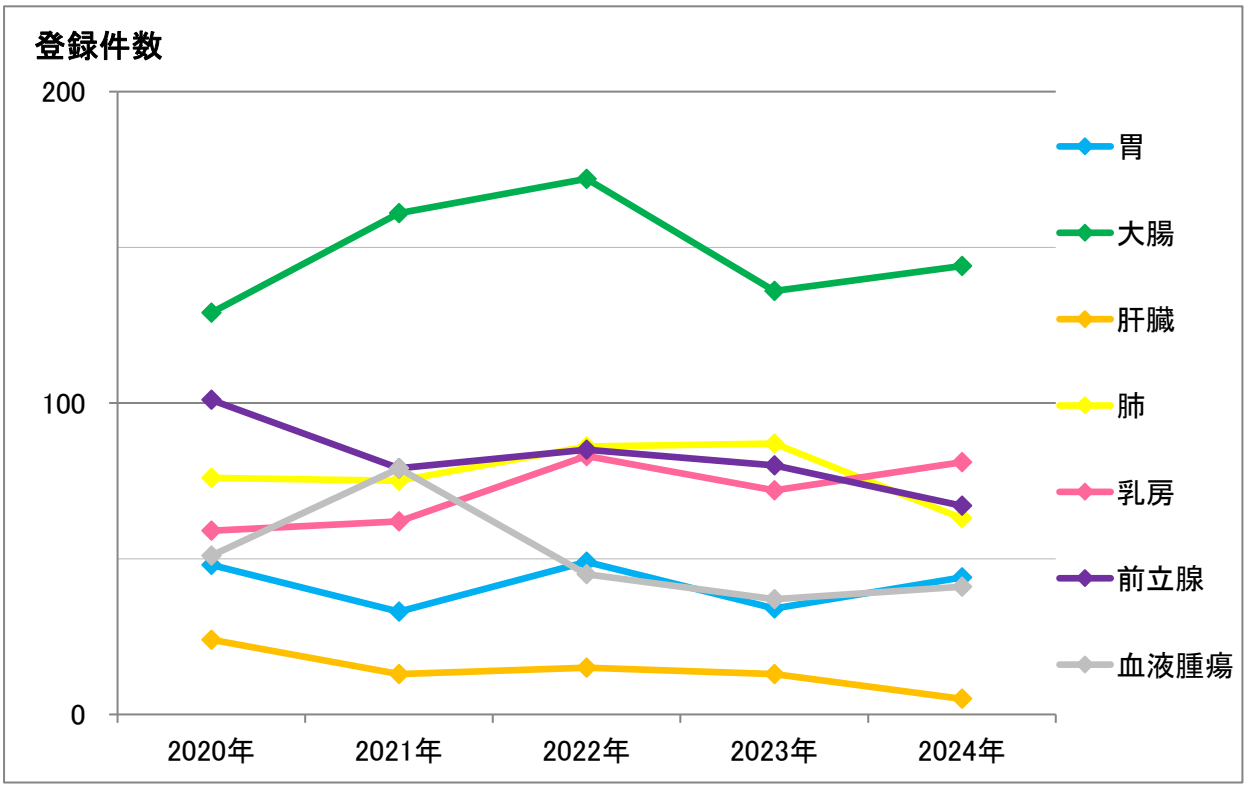
2020 年診断症例～2024 年診断症例
年次推移

登録件数の推移

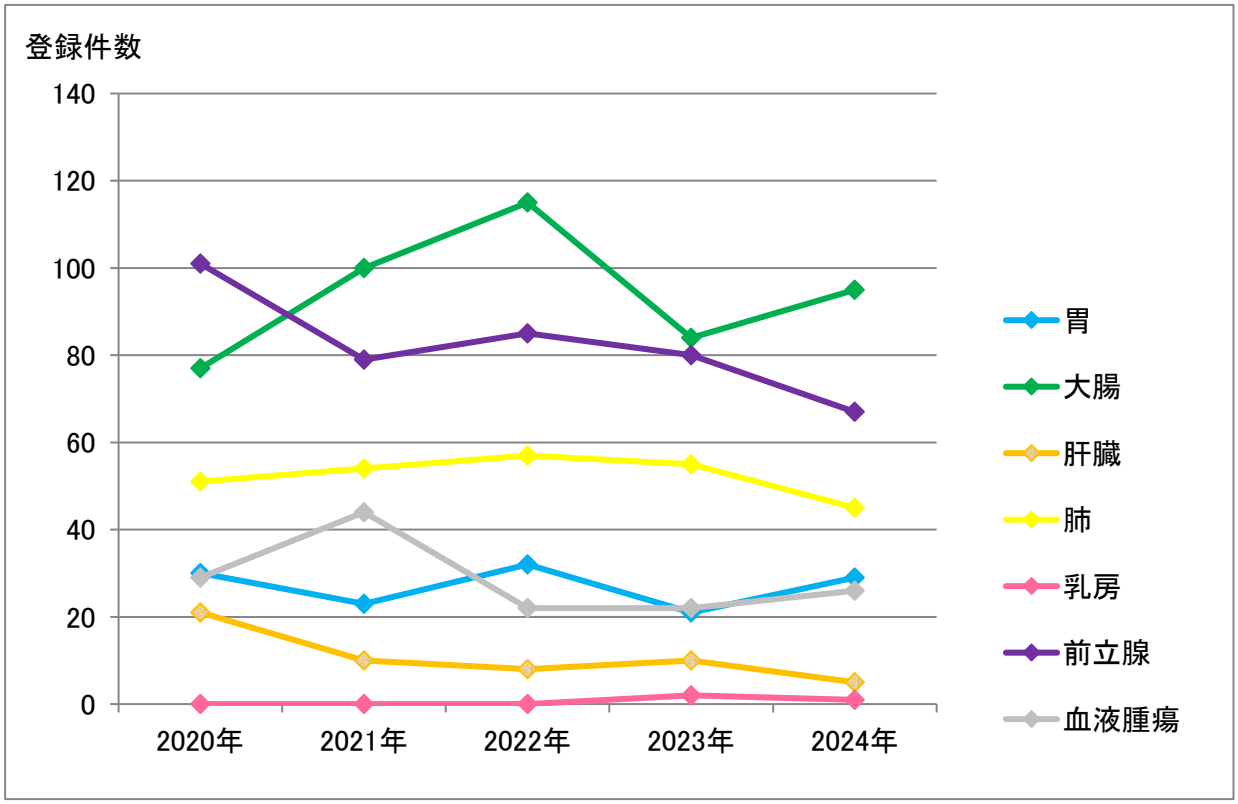


部位別登録件数の推移

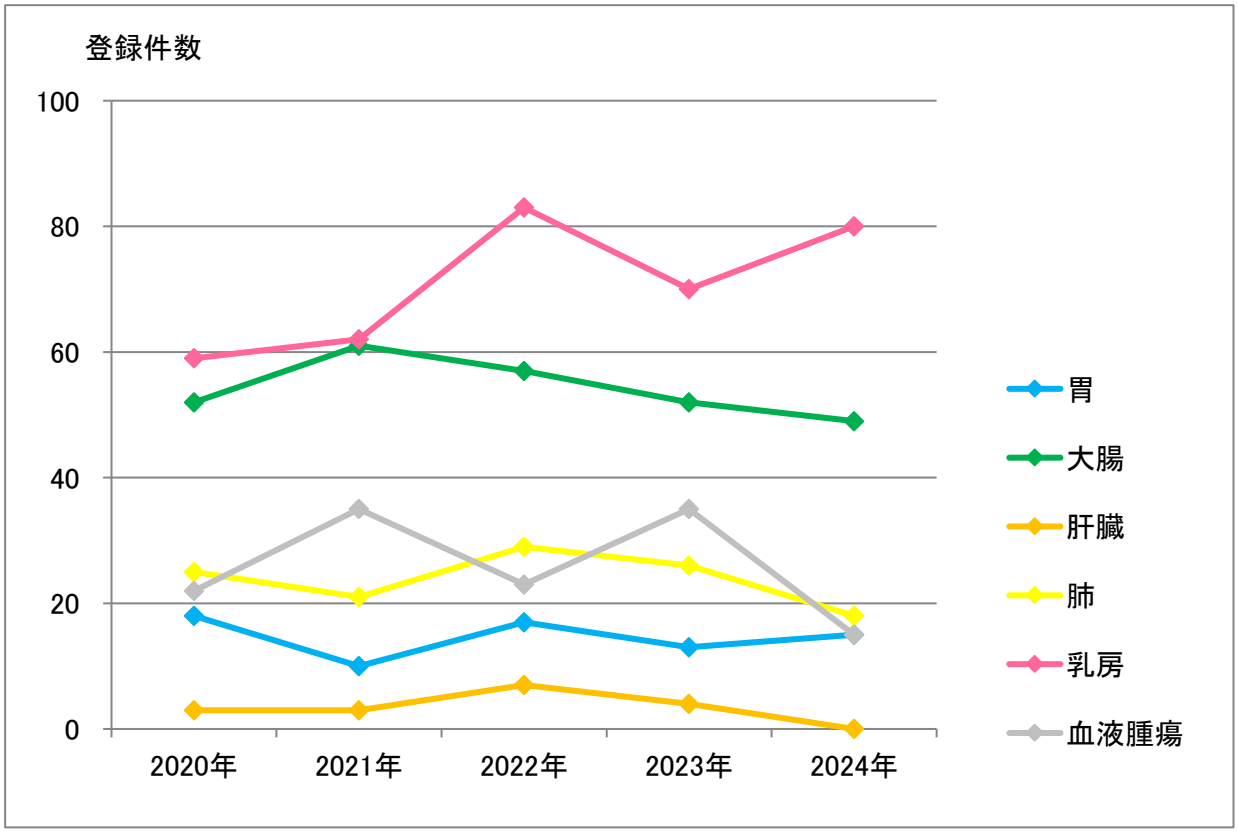
（全体）



（男性）

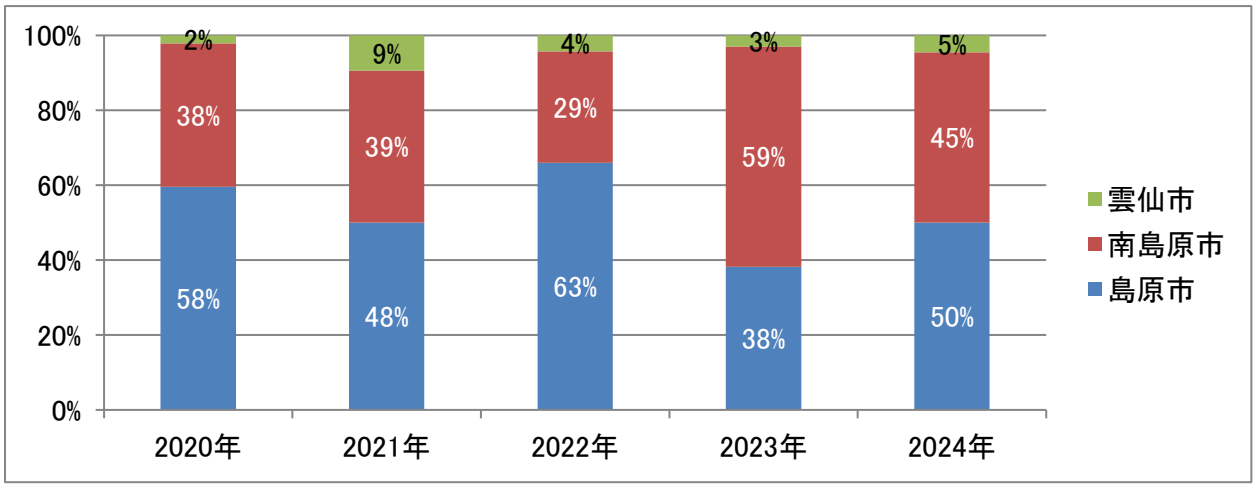

登録件数
140
120
100
80
60
40
20
0
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
胃
大腸
肝臓
肺
乳房
前立腺
血液腫瘍

（女性）

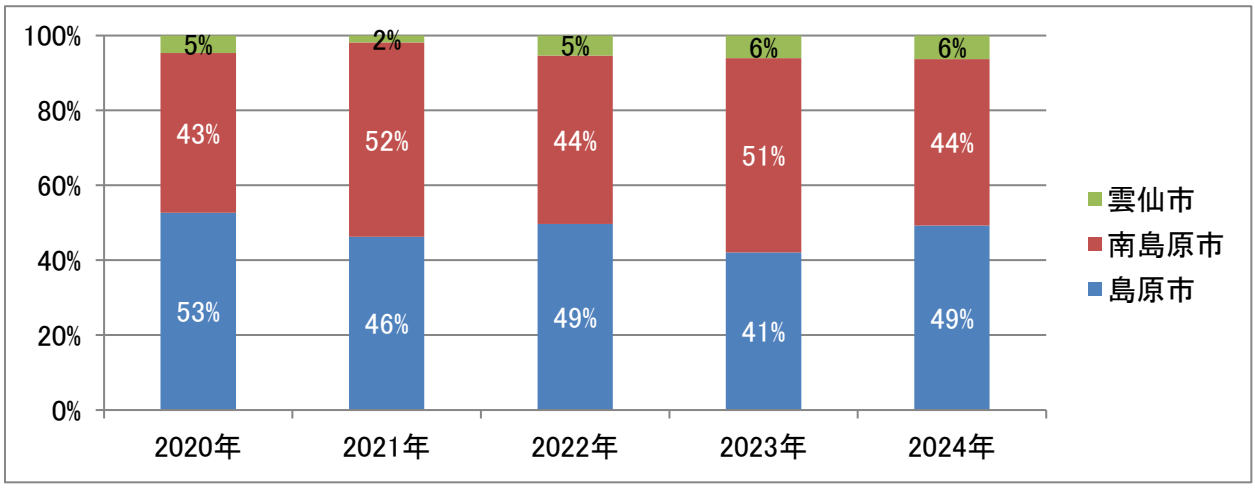

登録件数
100
80
60
40
20
0
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
胃
大腸
肝臓
肺
乳房
血液腫瘍

診断時住所・部位別　3市（島原市・南島原市・雲仙市）の推移

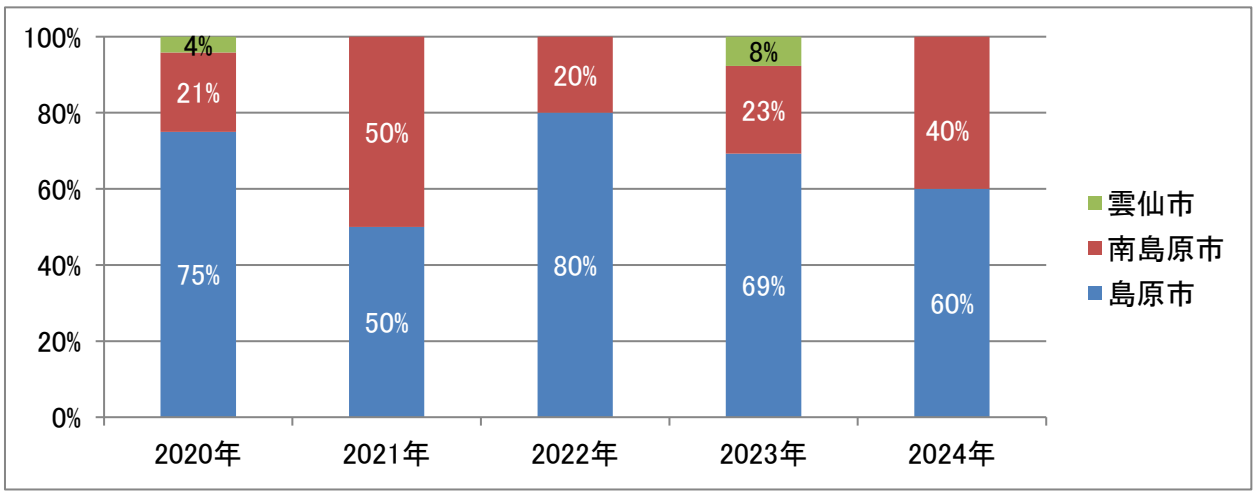
【胃】



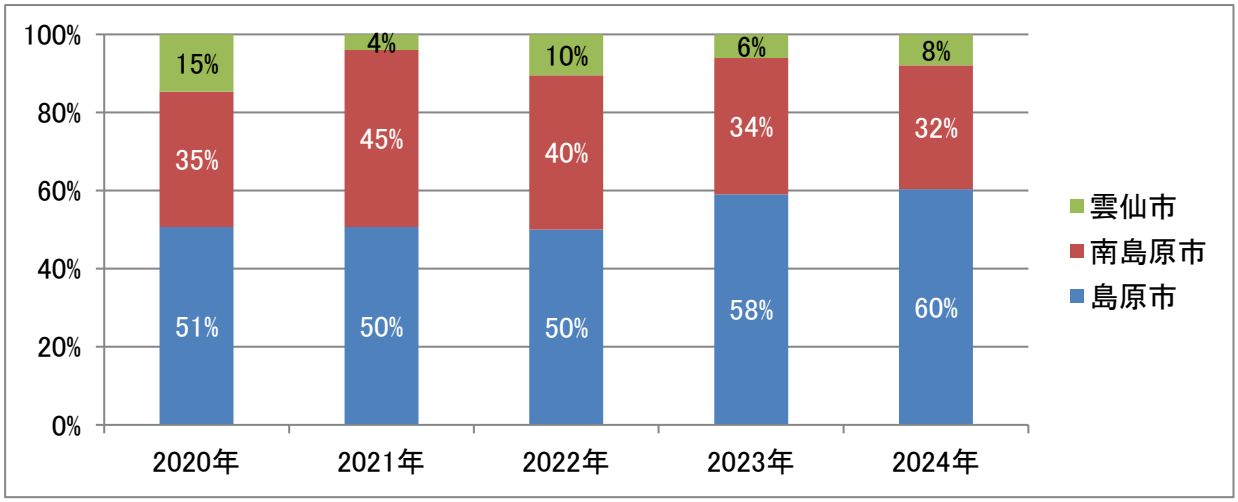
【大腸】



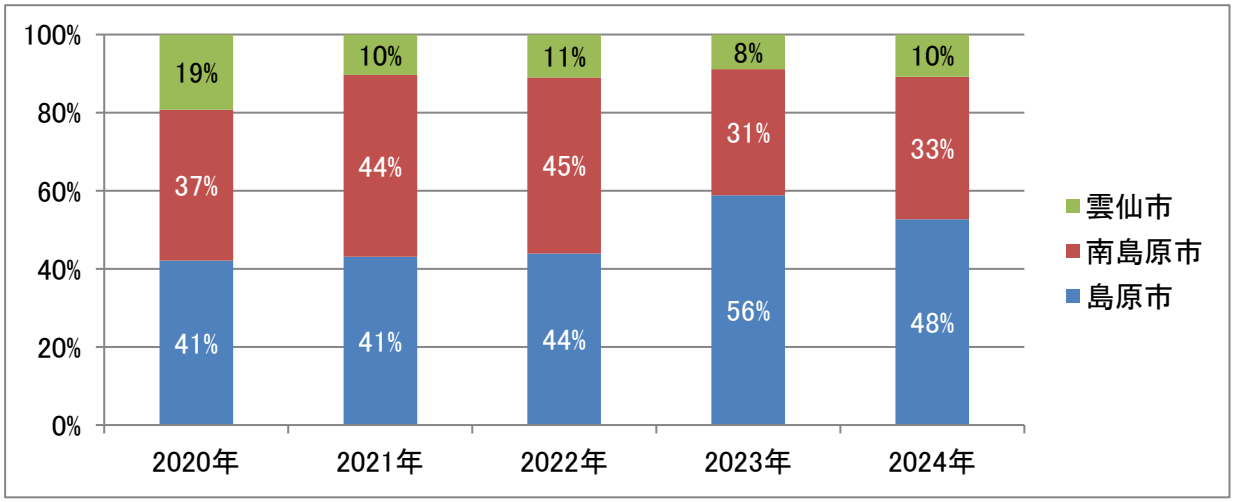
【肝臓】



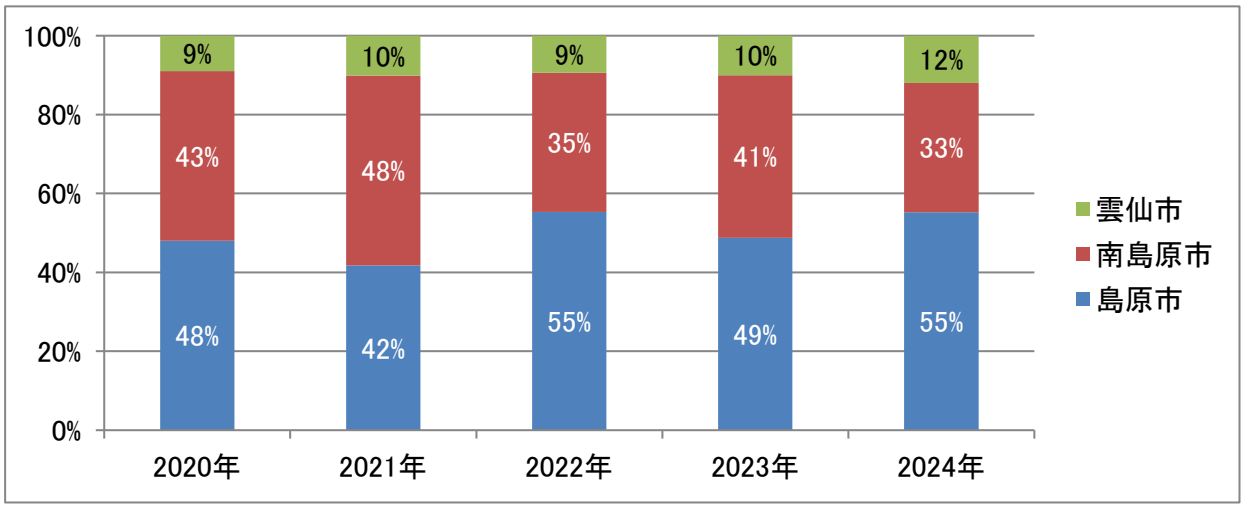
【肺】


100%
80%
60%
40%
20%
0%
15%
35%
51%
4%
45%
50%
10%
40%
50%
6%
34%
58%
8%
32%
60%
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
雲仙市
南島原市
島原市

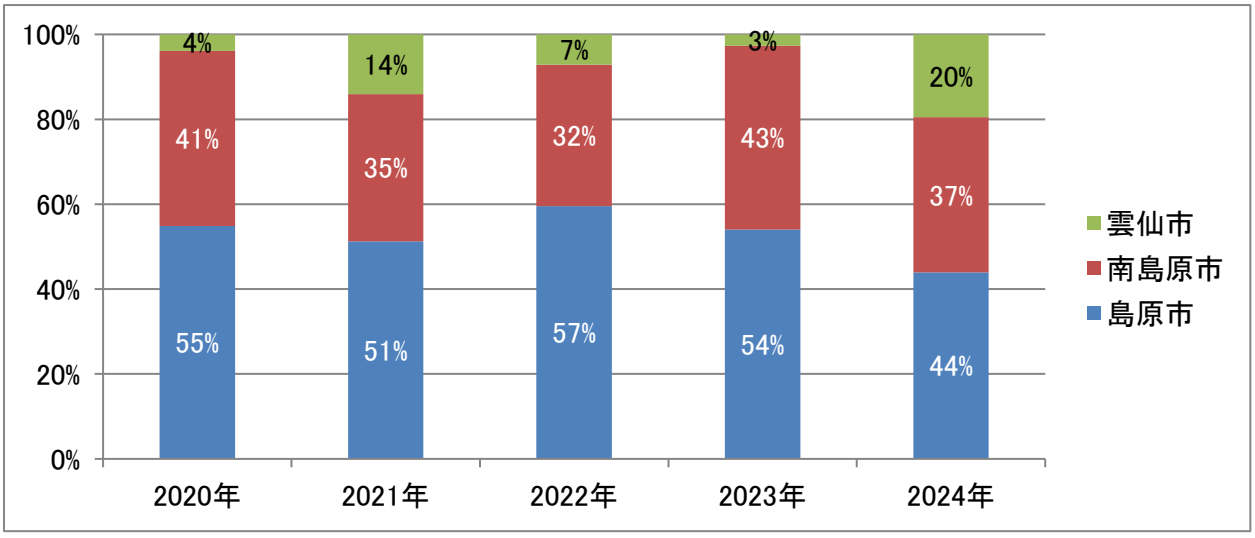
【乳房】


100%
80%
60%
40%
20%
0%
19%
37%
41%
10%
44%
41%
11%
45%
44%
8%
31%
56%
10%
33%
48%
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
雲仙市
南島原市
島原市

【前立腺】


100%
80%
60%
40%
20%
0%
9%
43%
48%
10%
48%
42%
9%
35%
55%
10%
41%
49%
12%
33%
55%
2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
雲仙市
南島原市
島原市

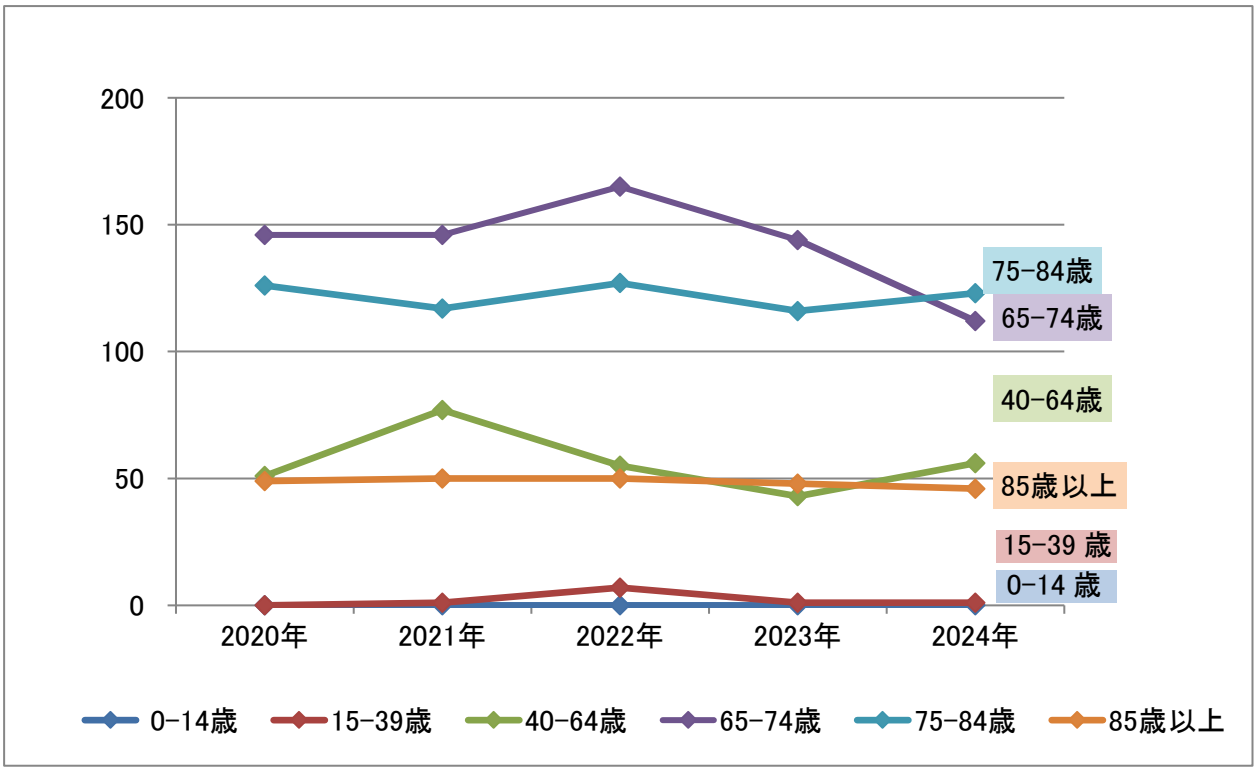
【血液腫瘍】



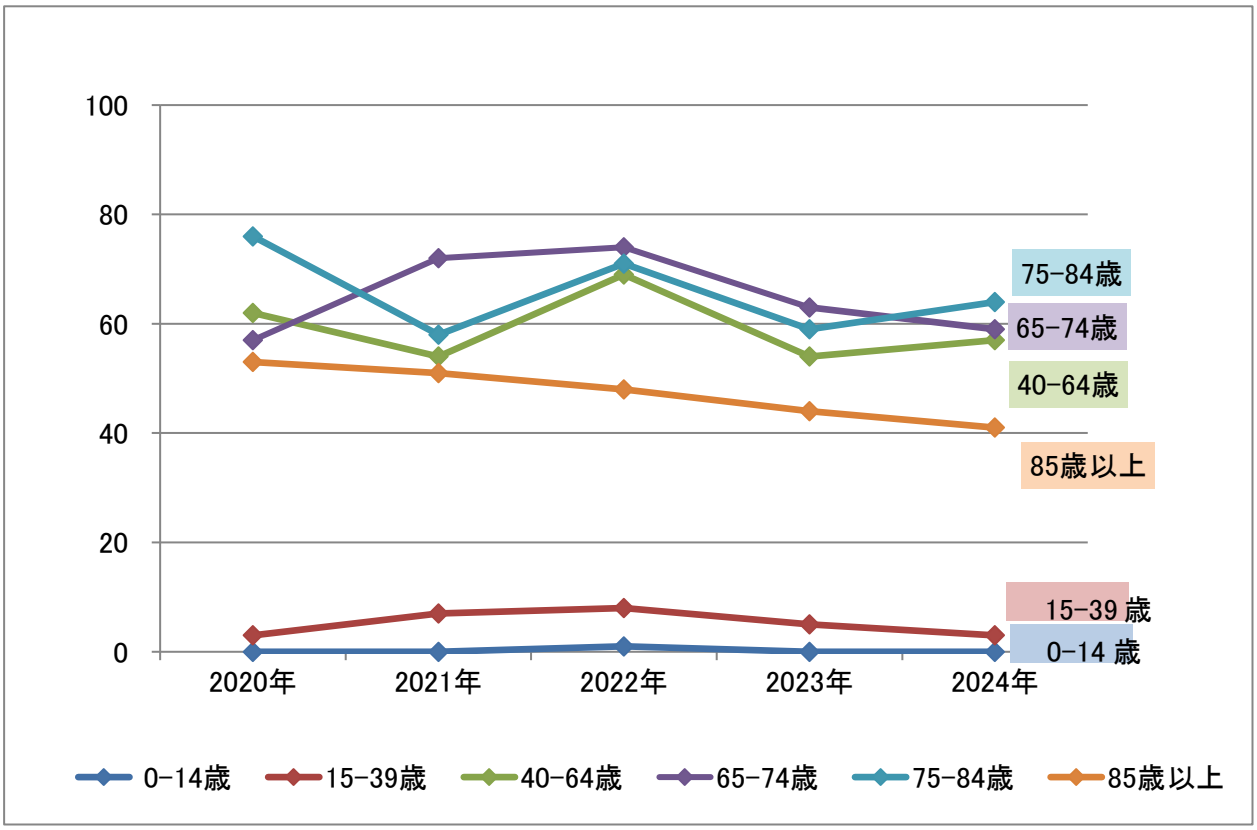
交通の利便性や各医療機関の所在等から島原市・南島原市からの受診が多く、県南圏域の90%になっています。

男女別　年齢 6 階級別登録件数の推移

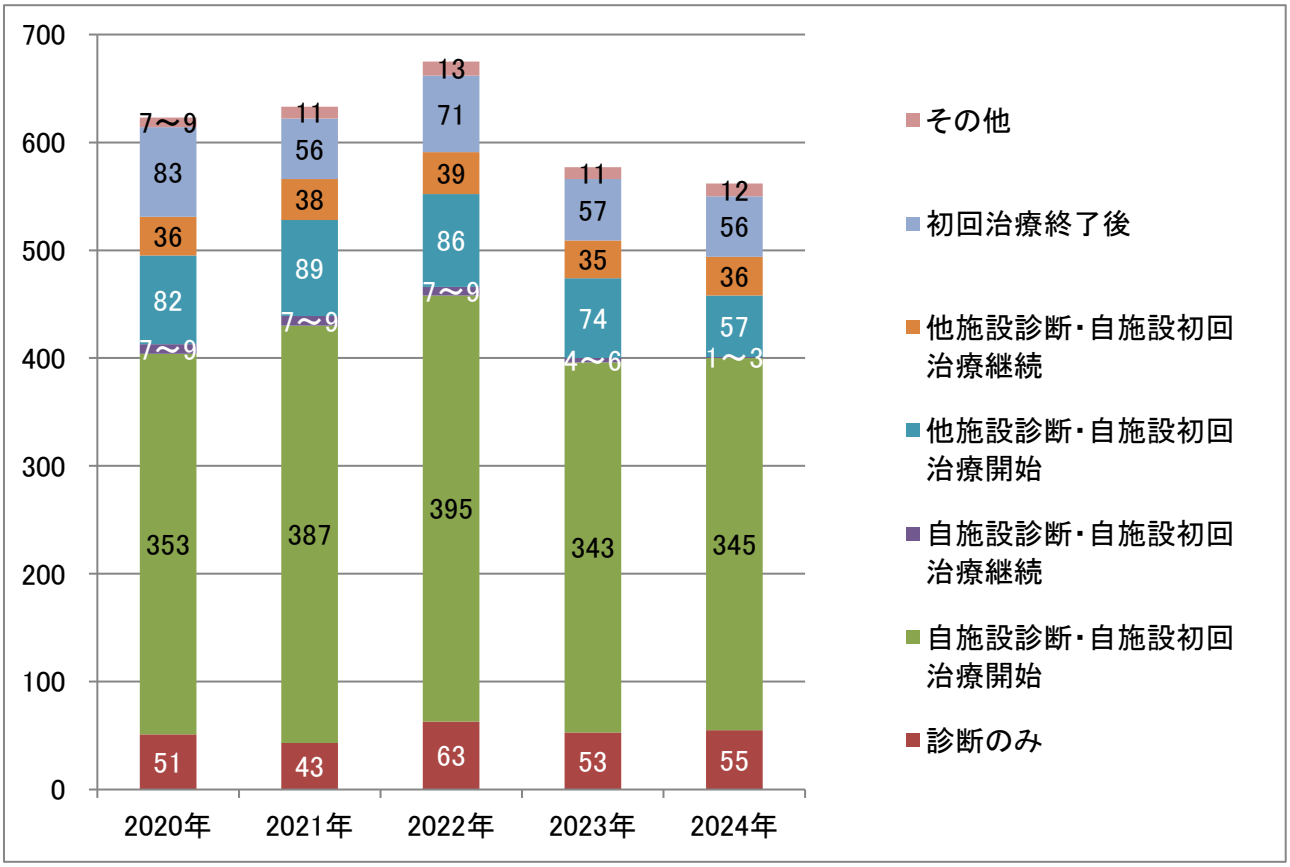
【男性】



【女性】

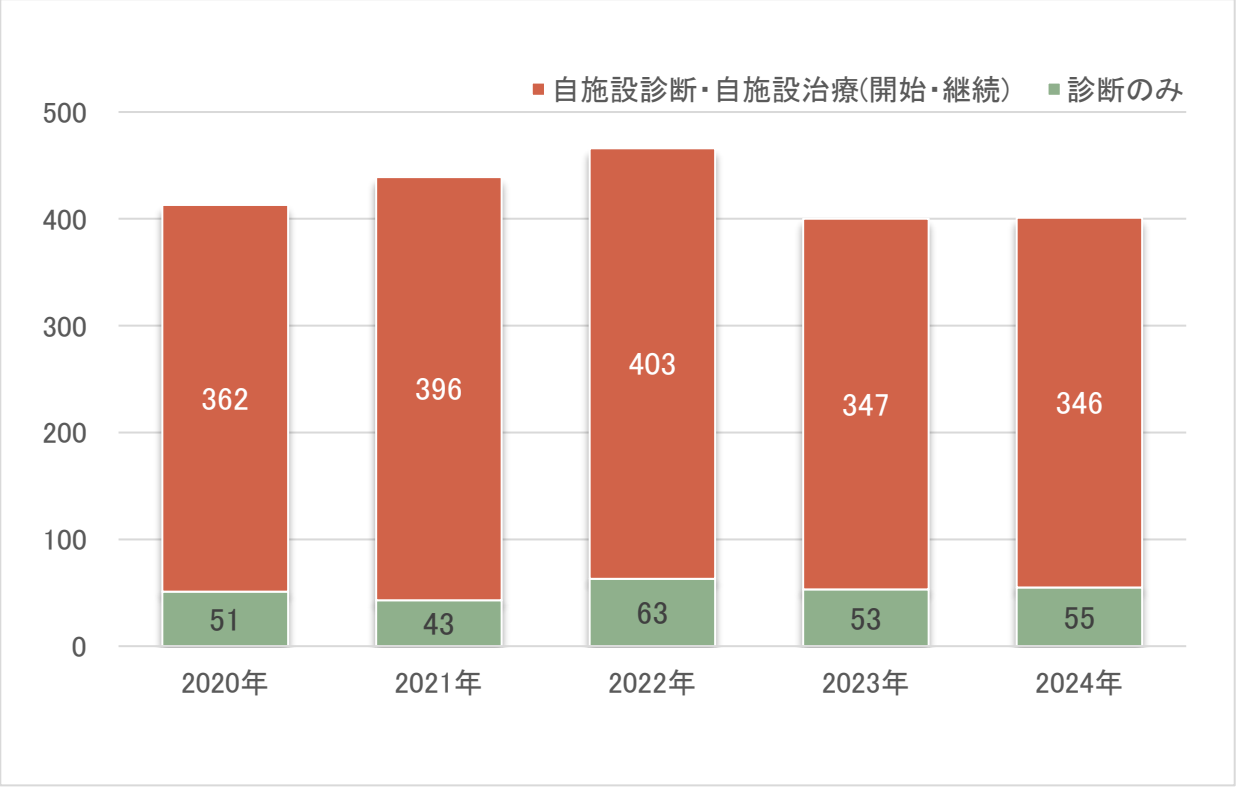


症例区分の推移



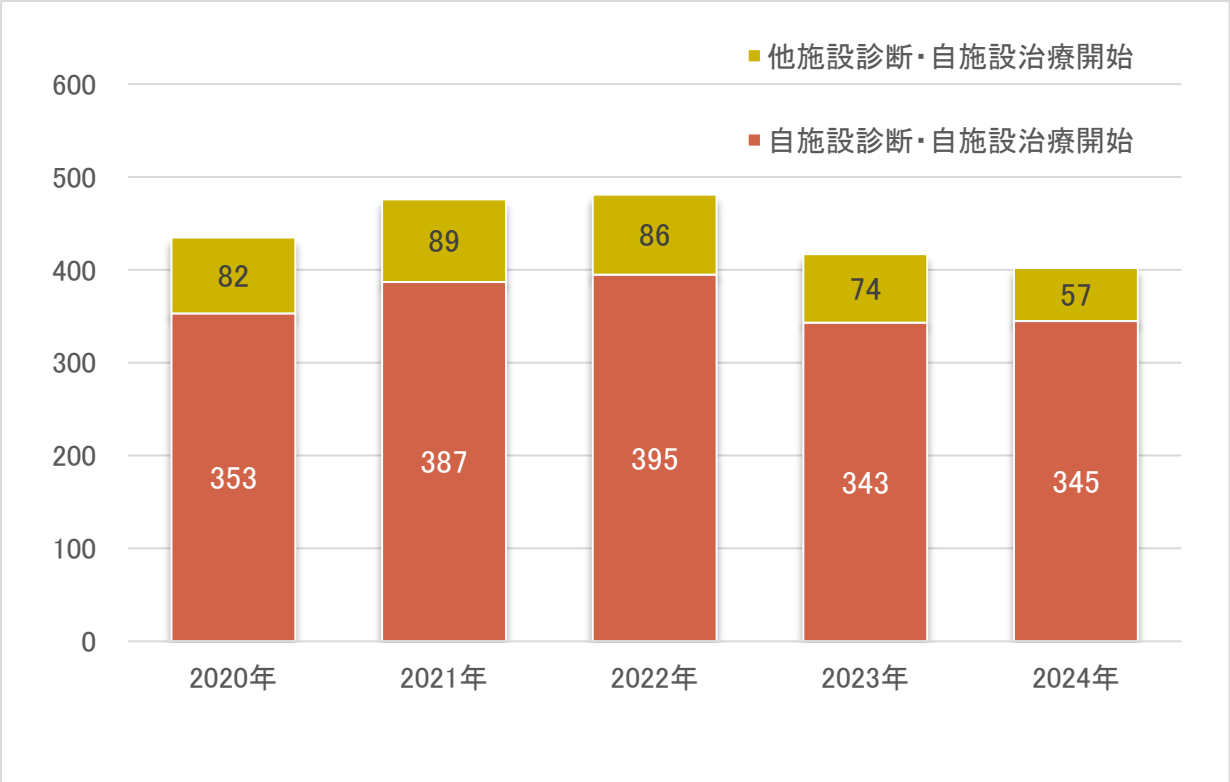
【自施設でがんと診断した症例の推移】

（診断のみ、自施設診断・自施設初回治療開始、自施設診断・自施初回設治療継続）



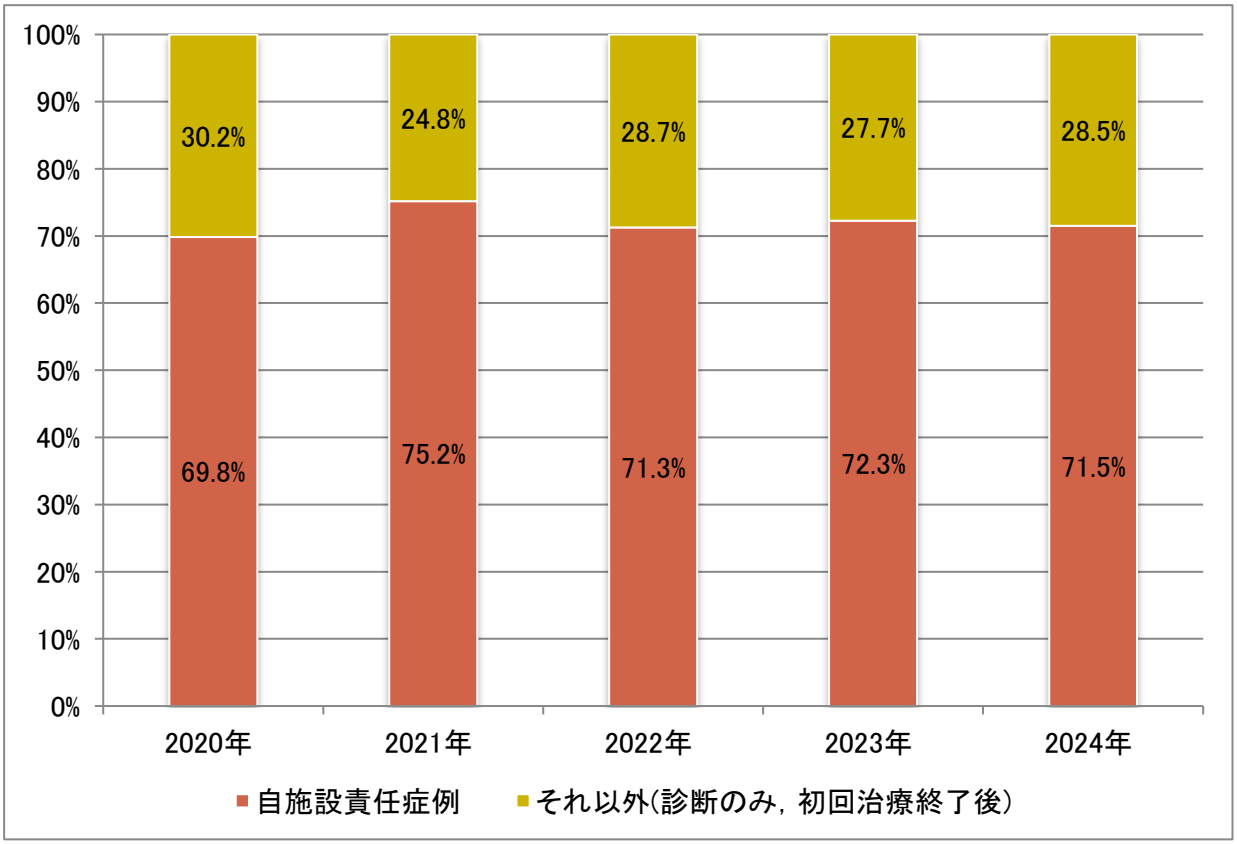
【自施設初回治療開始症例の推移】

（自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始）



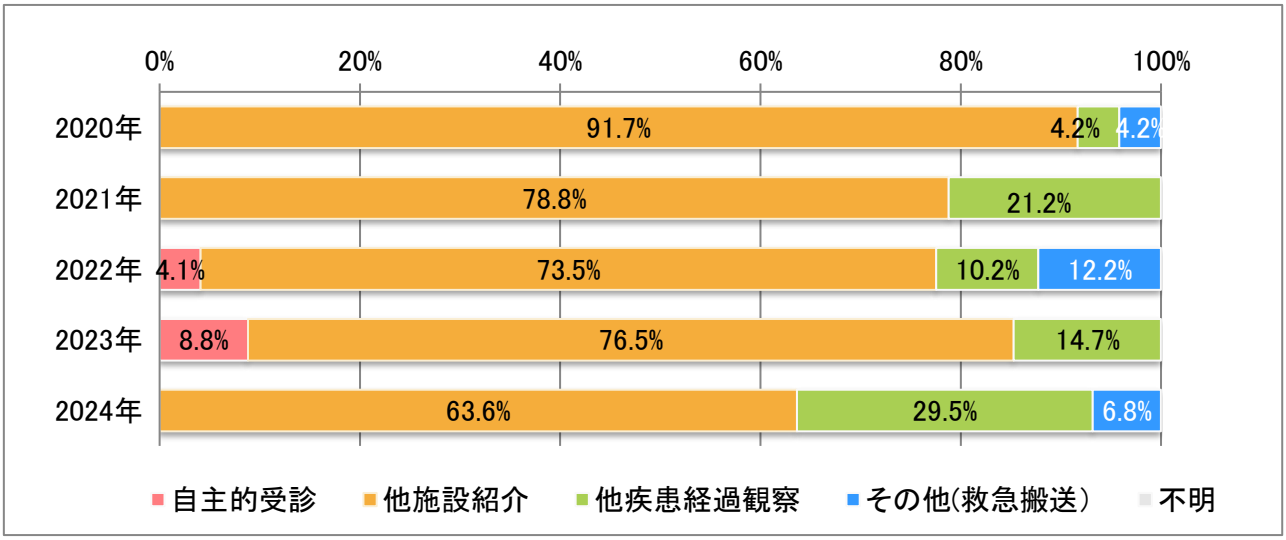
【自施設責任症例の割合の推移】

（自施設責任症例とは；自施設初回治療開始または自施設初回治療継続の症例）

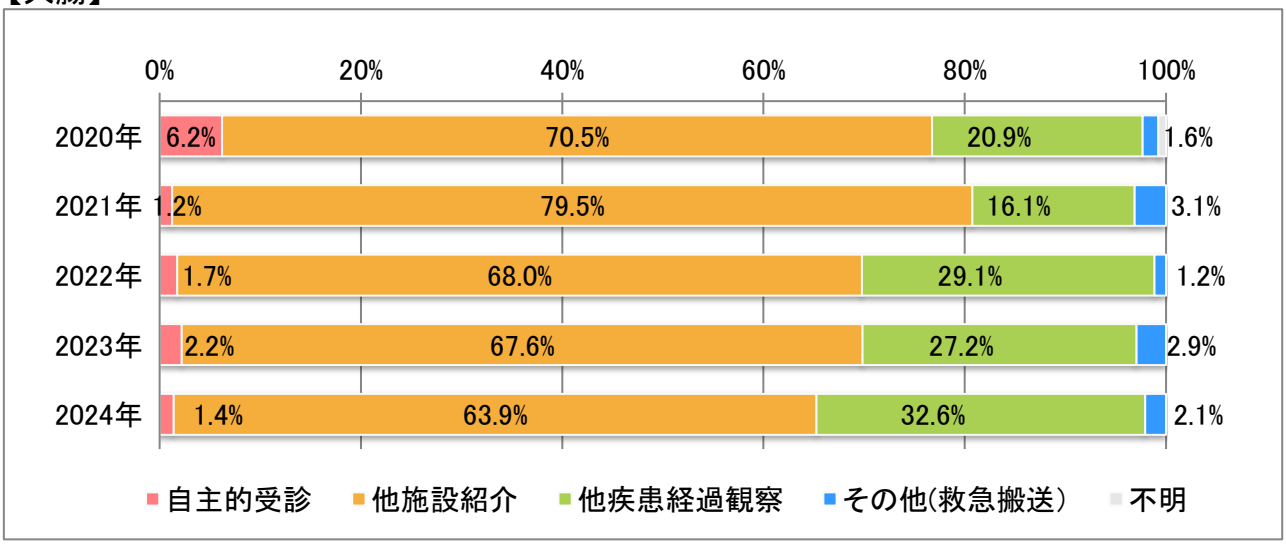


来院経路の推移

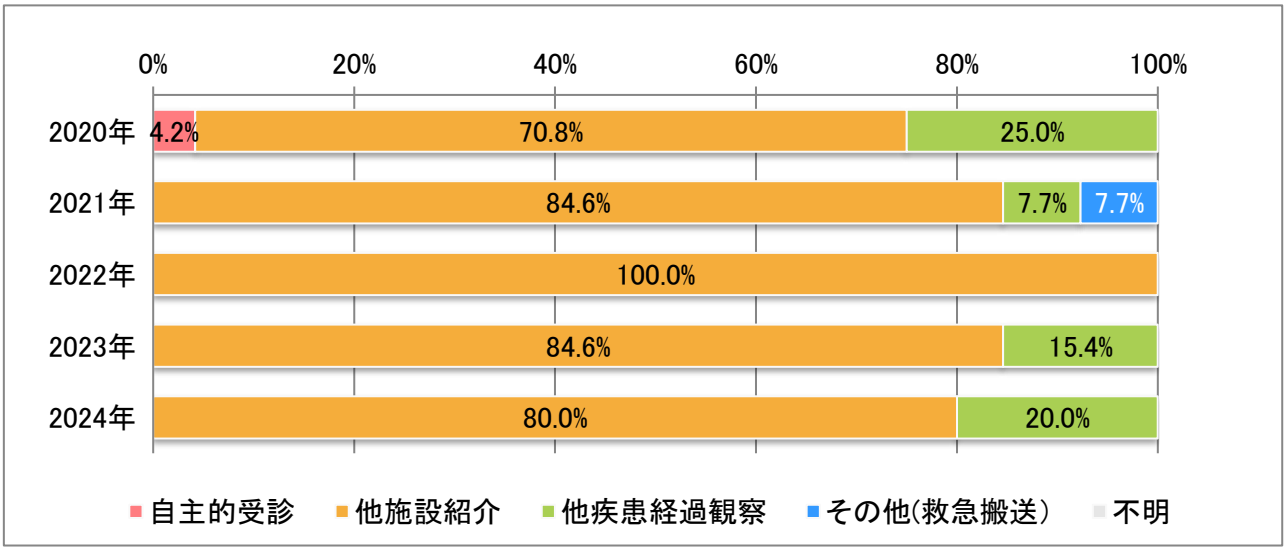
【胃】



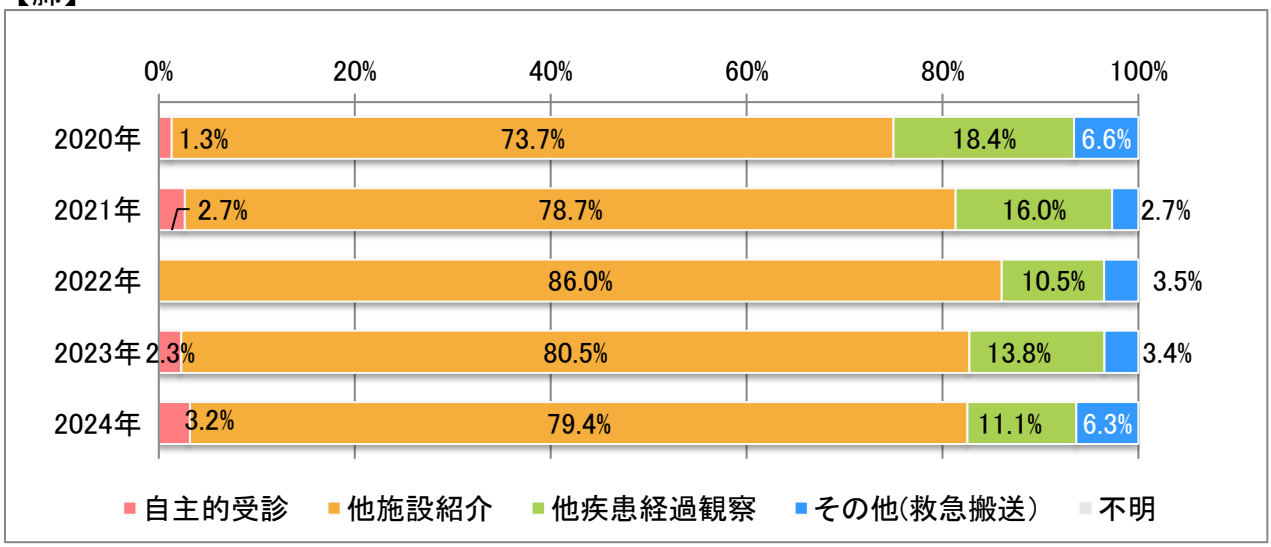
【大腸】



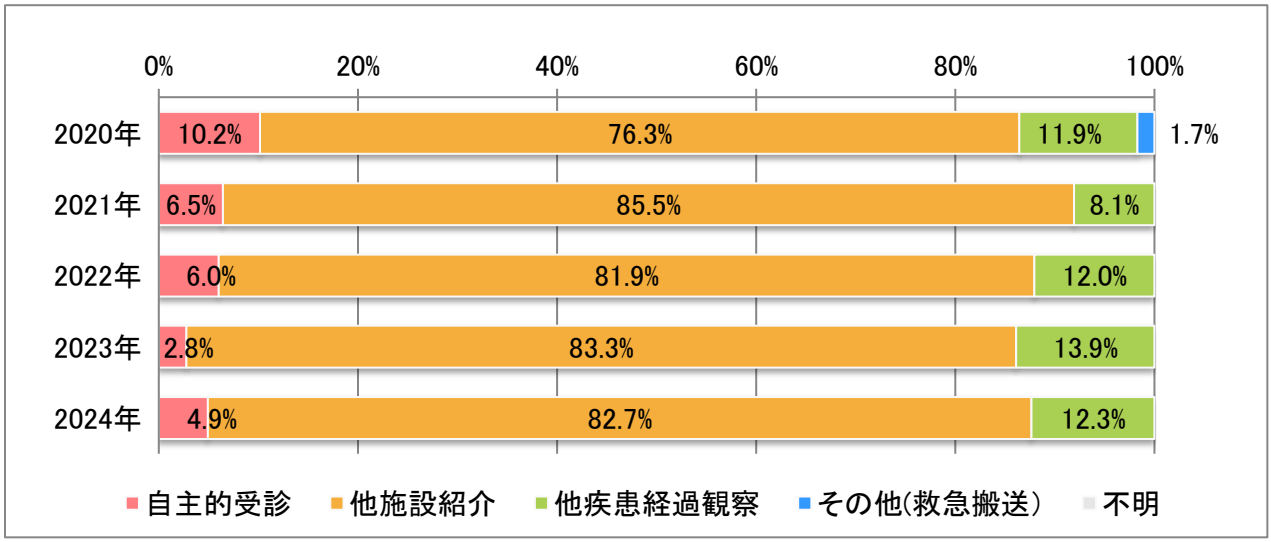
【肝臓】



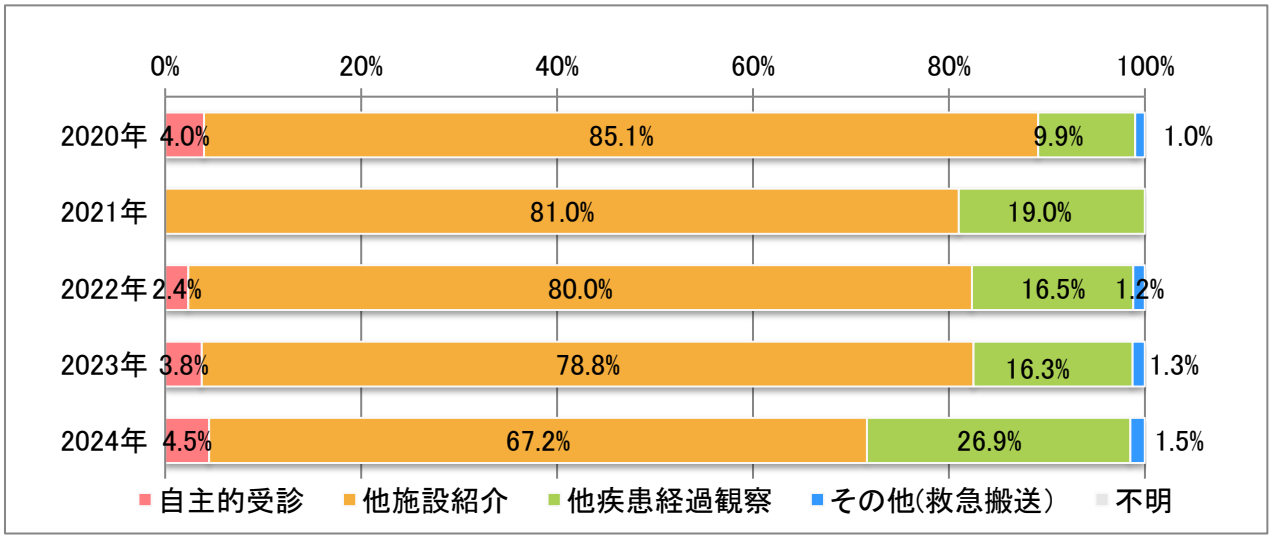
【肺】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
2020年
1.3%
73.7%
18.4%
6.6%
2021年
2.7%
78.7%
16.0%
2.7%
2022年
86.0%
10.5%
3.5%
2023年
2.3%
80.5%
13.8%
3.4%
2024年
3.2%
79.4%
11.1%
6.3%
自主的受診
他施設紹介
他疾患経過観察
その他(救急搬送)
不明

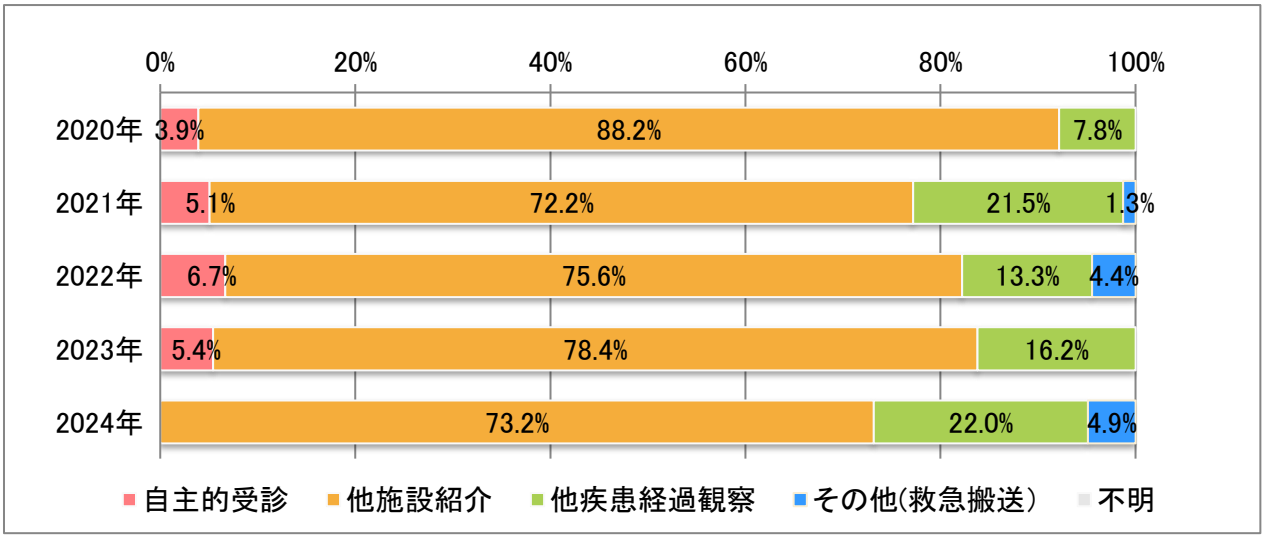
【乳房】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
2020年
10.2%
76.3%
11.9%
1.7%
2021年
6.5%
85.5%
8.1%
2022年
6.0%
81.9%
12.0%
2023年
2.8%
83.3%
13.9%
2024年
4.9%
82.7%
12.3%
自主的受診
他施設紹介
他疾患経過観察
その他(救急搬送)
不明

【前立腺】


0%
20%
40%
60%
80%
100%
2020年
4.0%
85.1%
9.9%
1.0%
2021年
81.0%
19.0%
2022年
2.4%
80.0%
16.5%
1.2%
2023年
3.8%
78.8%
16.3%
1.3%
2024年
4.5%
67.2%
26.9%
1.5%
自主的受診
他施設紹介
他疾患経過観察
その他(救急搬送)
不明

【血液腫瘍】



当院では、「他施設からの紹介」の割合が高く、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、診療所や病院からの紹介を受けております。がん医療の中心的な役割を担い、専門的ながん治療の提供、医療機関同士の連携体制の構築、患者さんやご家族への相談支援と情報提供を行います。

発見経緯の推移

発見経緯とは:

がん患者さんが「がん」と診断されるきっかけとなった状況を把握するための項目です。

■がん検診・健康診断・人間ドック・・・・・・市町村が実施するがん検診や人間ドックの結果により受診した場合

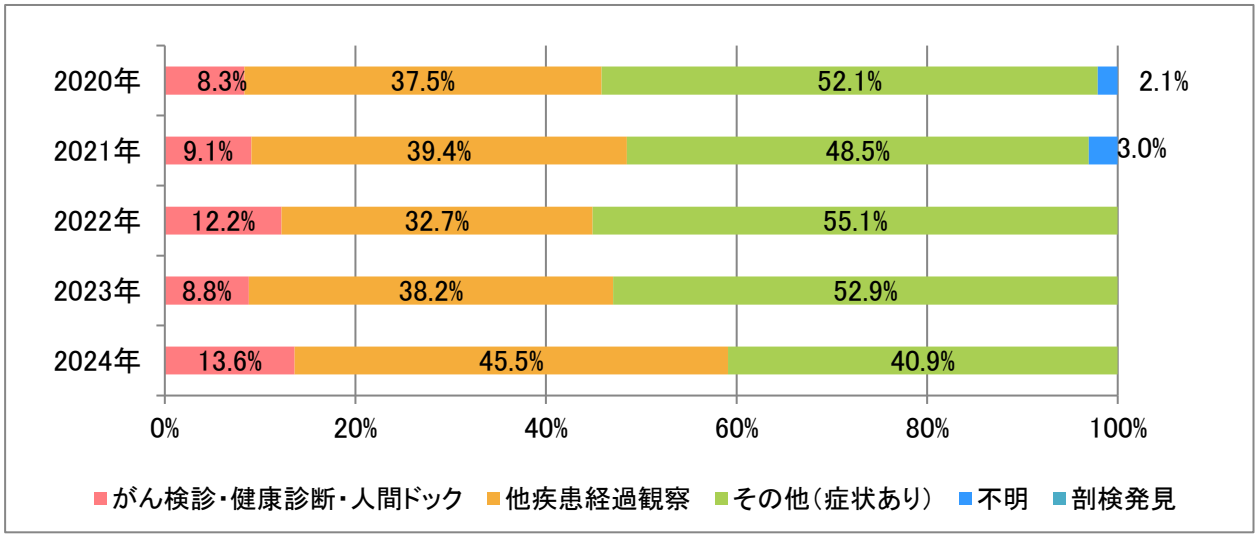
■他疾患経過観察中の偶然発見・・・・・・他の疾患で経過観察中に実施された検査などにより、偶然発見されたもの。

■剖　　検　　発　　見・・・・・・死体解剖（剖検）ではじめて診断された場合

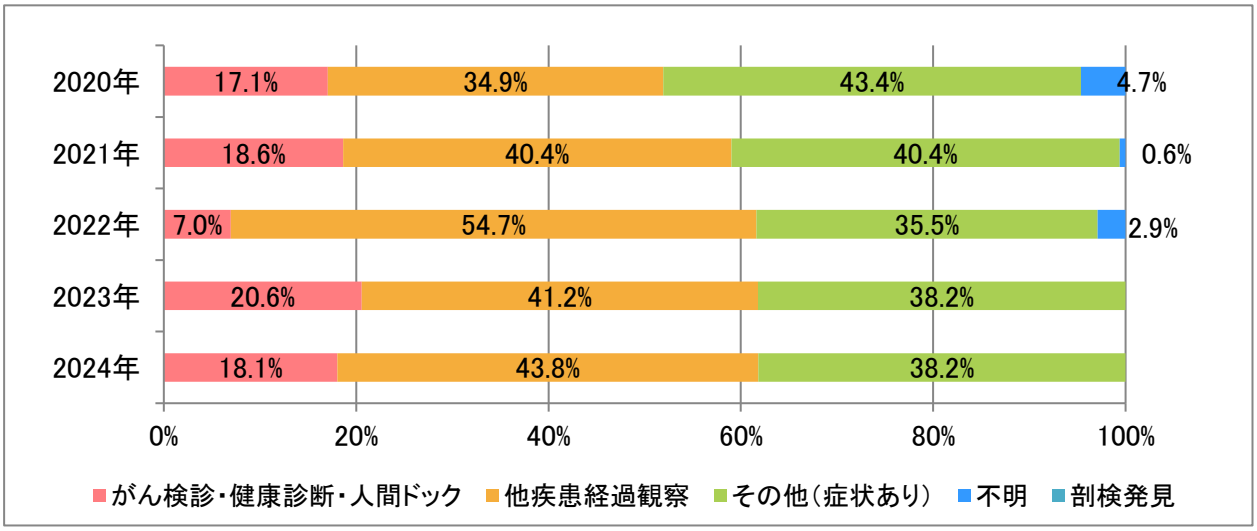
■そ　　の　　他・・・・・・上記にあてはまらないもの（症状あり含む）

■不　　明・・・・・・診断にいたる発端が不明の場合

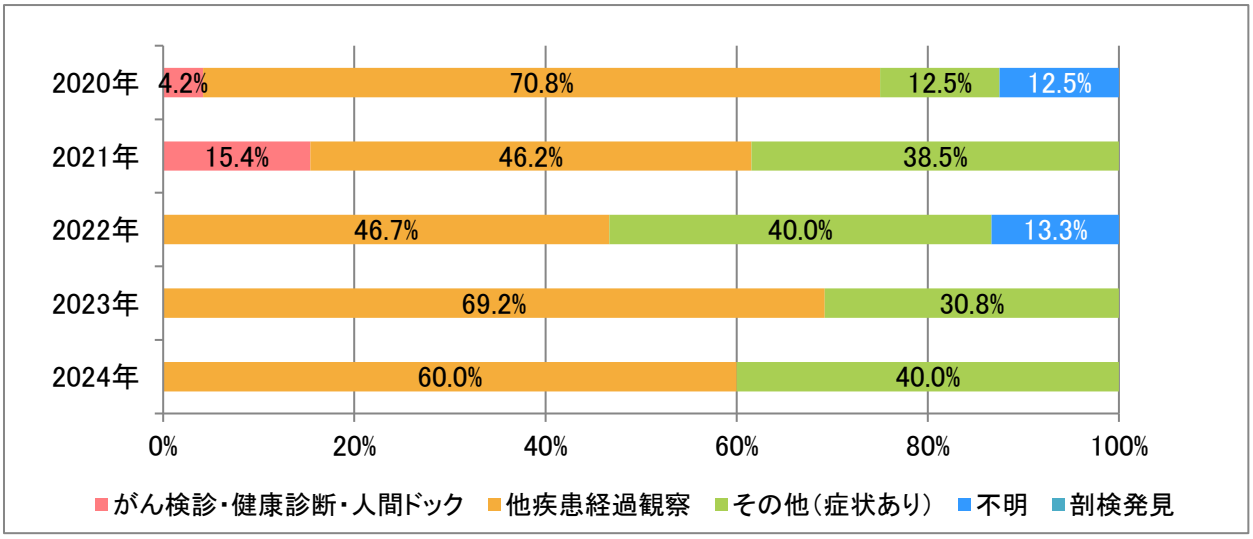
【胃】



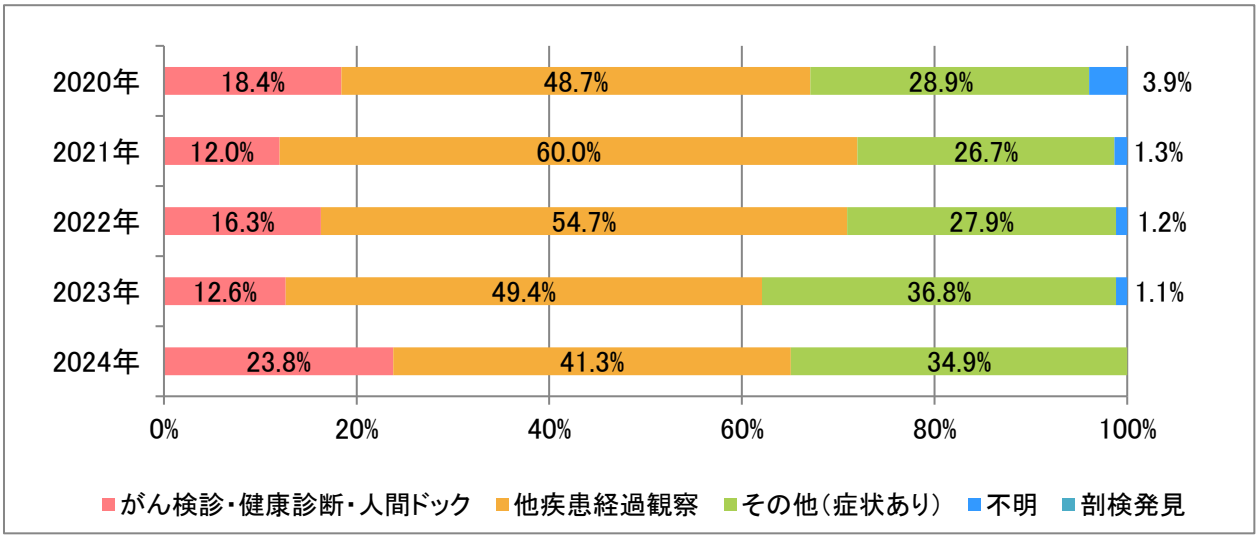
【大腸】



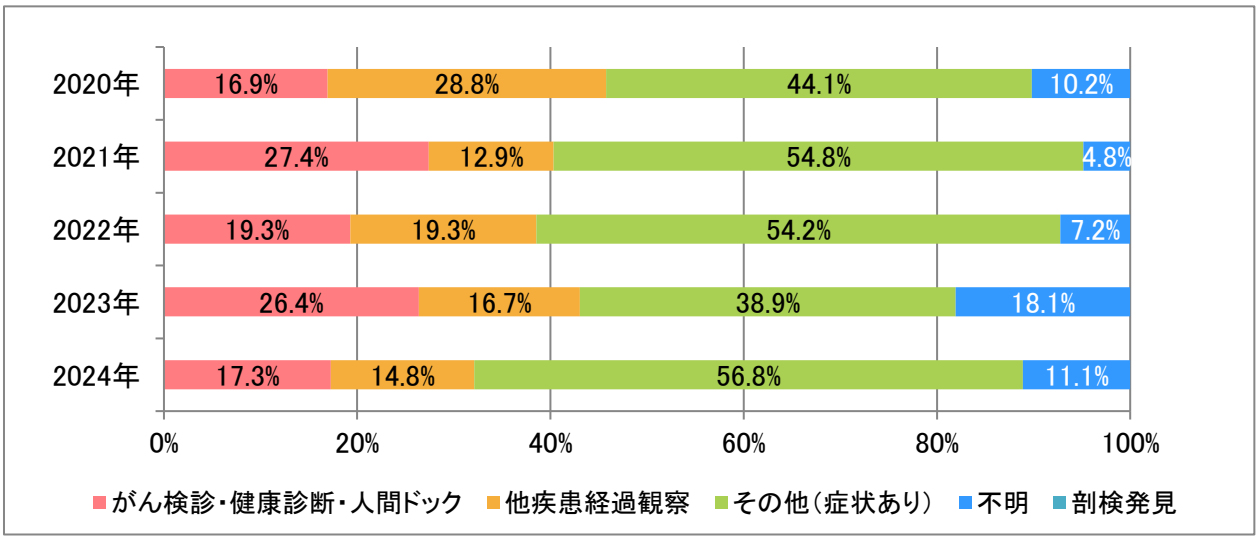
【肝臓】


2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
4.2%
70.8%
12.5%
12.5%
15.4%
46.2%
38.5%
46.7%
40.0%
13.3%
69.2%
30.8%
60.0%
40.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
がん検診・健康診断・人間ドック
他疾患経過観察
その他（症状あり）
不明
剖検発見

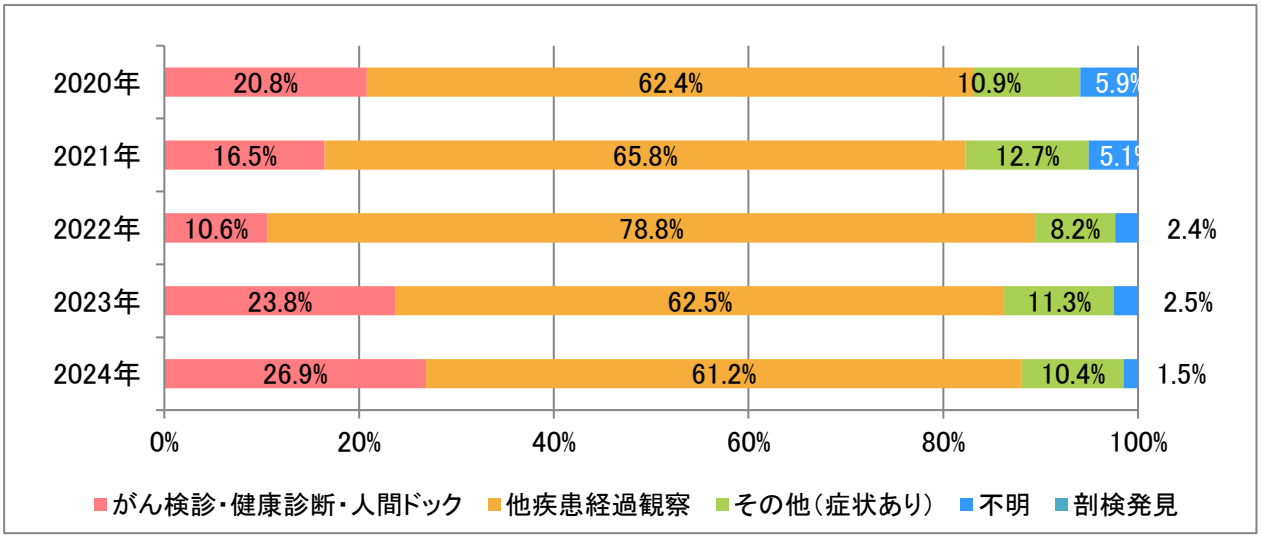
【肺】


2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
18.4%
48.7%
28.9%
3.9%
12.0%
60.0%
26.7%
1.3%
16.3%
54.7%
27.9%
1.2%
12.6%
49.4%
36.8%
1.1%
23.8%
41.3%
34.9%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
がん検診・健康診断・人間ドック
他疾患経過観察
その他（症状あり）
不明
剖検発見

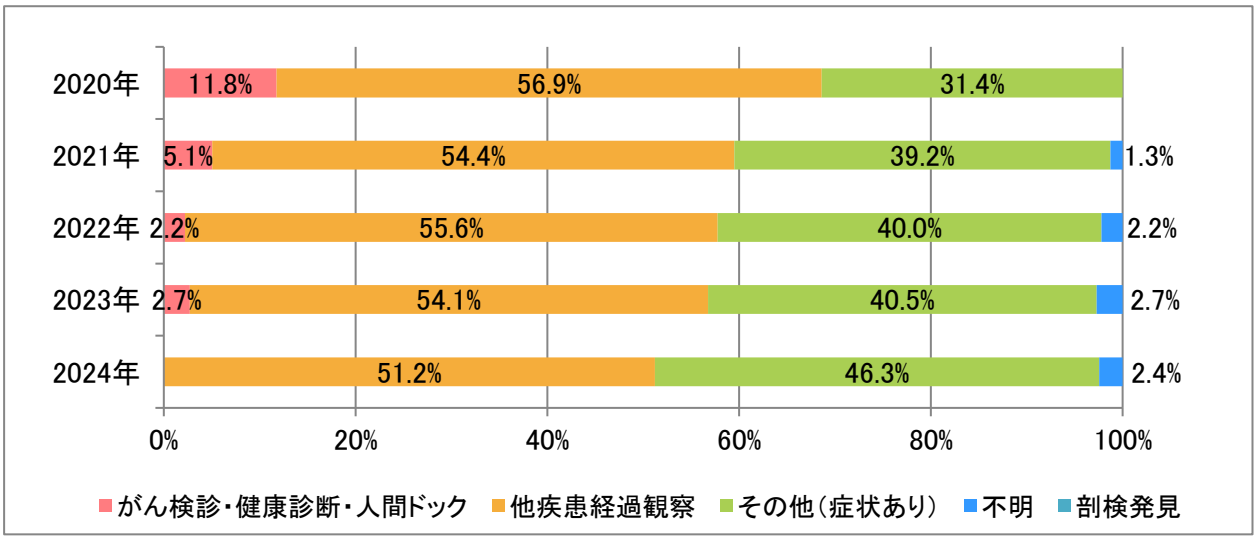
【乳】


2020年
2021年
2022年
2023年
2024年
16.9%
28.8%
44.1%
10.2%
27.4%
12.9%
54.8%
4.8%
19.3%
19.3%
54.2%
7.2%
26.4%
16.7%
38.9%
18.1%
17.3%
14.8%
56.8%
11.1%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
がん検診・健康診断・人間ドック
他疾患経過観察
その他（症状あり）
不明
剖検発見

【前立腺】



【血液腫瘍】



当院では、「他疾患（当該疾患を含む）経過観察」中の偶然発見の割合が高く、長期の経過観察での発見、登録したがん以外の疾患を診ている中での発見が比較的多い事が特徴です。他疾患の術前検査などで発見されるケースもあります。
地域医療の拠点、救急医療の中心として、がん以外様々な疾患を診ている表れではないかと考えます。

今回のテーマは　膵臓がん　です

全国がん罹患数（２０２３）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男	前立腺	大腸	肺	胃	膵臓
女	乳房	大腸	肺	胃	子宮

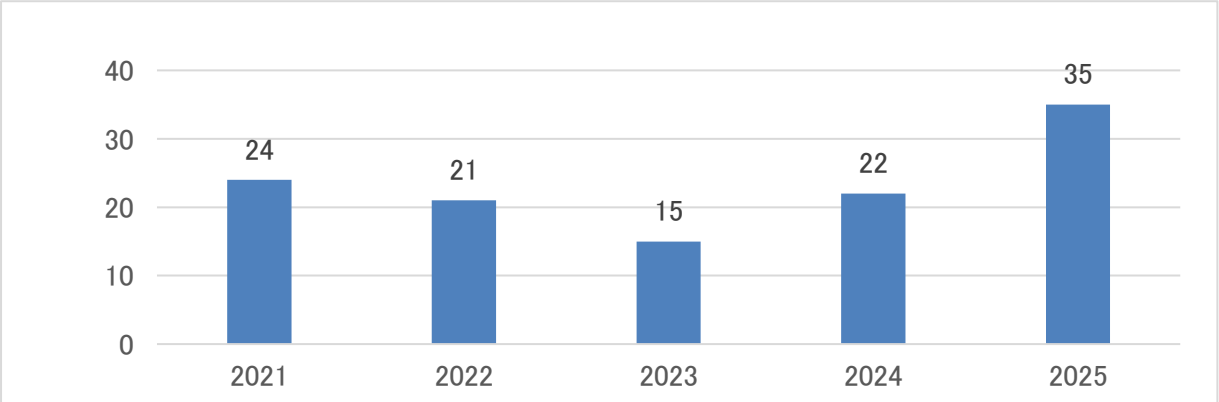
全国がん死亡数（２０２４）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓
男	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

『国立がん研究センター　最新がん統計より』

膵臓がんは、罹患数で男性のみ 5 位となっていますが、死亡数では男性も女性も上位へ位置しています。2 位の肺がんとは 2 倍、1 位の大腸がんとは 3 倍近く罹患数が異なり、死亡率の高さがうかがえます。

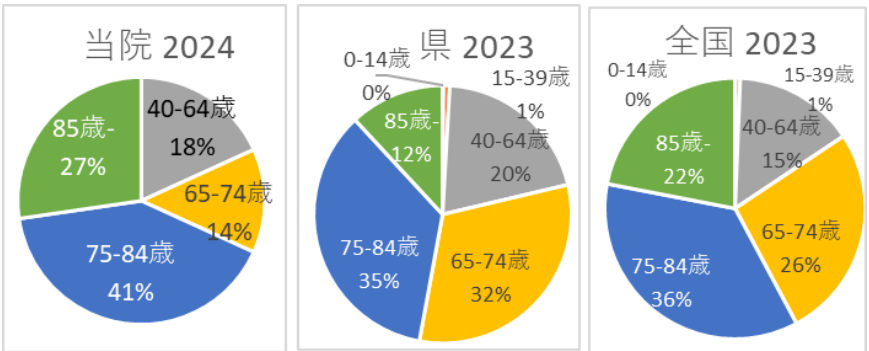
2021～2025 年　膵臓がん登録件数（当院）



膵臓がんは、国立がん研究センターの調査によると 1975 年以降罹患数も死亡数も右上がりで増加しています。当院でも新型コロナウイルス感染症以降減少傾向にありましたが、2024 年増加しました。2025 年も増加が見込まれます。

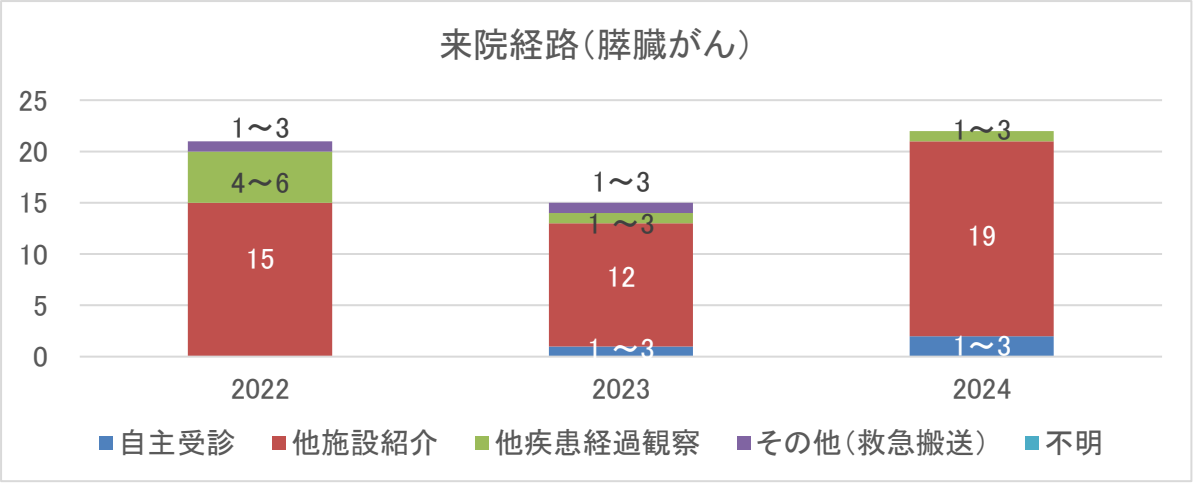
年齢別登録件数の割合（当院、長崎県、全国）

	2024
平均	75.5
中央値	79.5



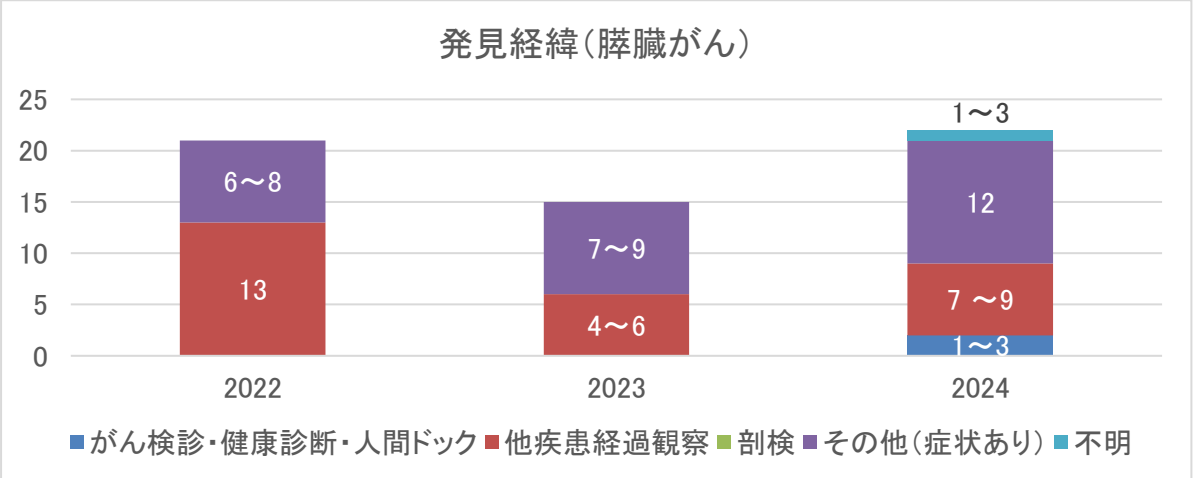
主に 40 代から罹患しますが、75 歳以上が半分を占めます。平均年齢は 75.5 歳で、中央値だと 79.5 歳でさらに高くなります。全国や長崎県と比較しても、当院では 75 歳以上の高齢者の割合が高い傾向が見られます。

来院経路



来院経路は、他施設紹介が最も多く、自主受診と他疾患経過観察は少数でした。

発見経緯



発見経緯は、その他（症状あり）による発見が最も多く次いで他疾患経過観察でした。
2024 年は、登録数が増加し各区分でも登録数の増加が見られました。
2024 年は特定項目健診をきっかけに、膵臓がんが発見された症例が見られました。

おもな症状

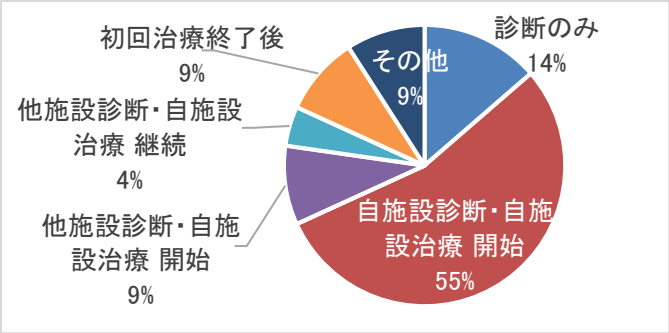
・疼痛（胸・背中・関節など）

・体重減少　　・黄疸

・違和感・倦怠感　などがあります

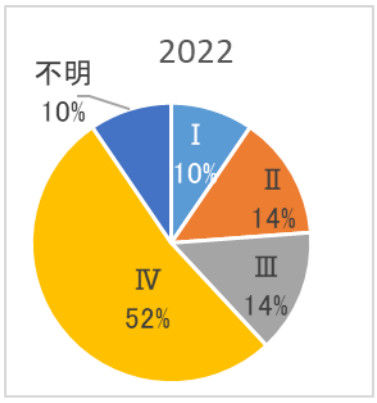


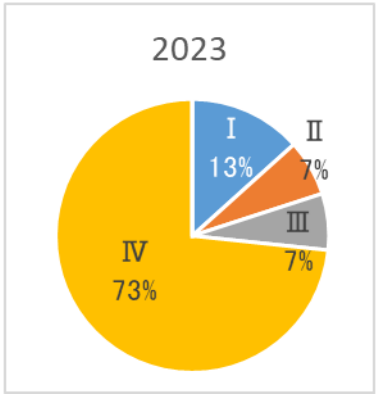
◆症例区分

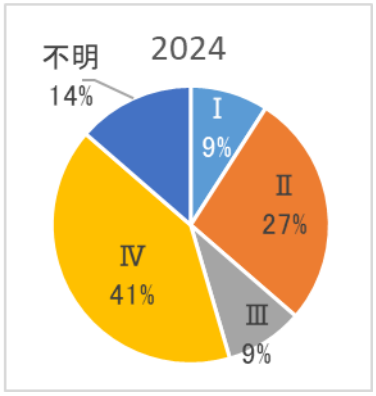


症例区分は、
約 7 割が当院で初回治療を開始・継続しています。経過観察も初回治療に含まれます。

◆総合ステージ

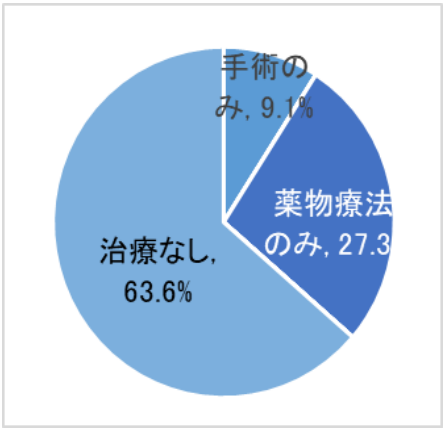


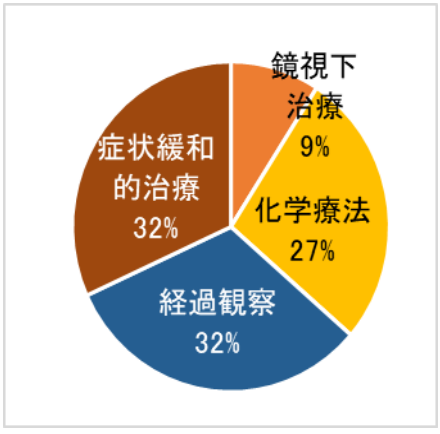




ステージ別では、I 期・II 期が約 2～3 割、III 期・IV 期が半数以上を占める傾向にあります。III 期・IV 期の進行癌が約半数を占めていることから早期発見・早期治療の重要性が示唆されます。

◆治療方法、詳細





治療方法は、
約 6 割が治療を行わず経過観察となっています。高齢者も多く年齢や全身状態など考慮した治療方針が選択されていることが考えられます。症状緩和的治療は初回治療には含まれません。

膵臓がんは、初期には症状が現れにくいため、日頃からの健康管理や定期的な検査が重要ながんの 1 つです。当院の膵臓がん登録数をみると、2020 年は新型コロナウイルス感染症流行下においても比較的多く登録されましたが、2021 年以降は減少傾向となり、2023 年以降は再び増加傾向が見られます。受診時の病期をみると、III 期・IV 期が半数以上を占めており、進行した状態で発見されるケースが多いことが分かります。膵臓がんは家族歴や喫煙、飲酒、糖尿病などのリスク因子に応じて定期的な健診や必要な画像検査、医療機関での画像フォローを適切に利用することが大切です。また、日頃から喫煙や飲酒などの生活習慣を見直し、健康管理を心がけることも重要です。

院内がん登録室より

当院では 2007 年 4 月より院内がん登録を開始し、今回で 7 巻目の報告となります。

本報告は、2024 年 1 月から 12 月までの 1 年間に当院で診断・治療を行った症例を集計し当院のがん診療の状況をまとめたものです。

当院は厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けており、国が定める標準登録様式に基づき院内がん登録を実施しています。

長崎県には 8 施設（国指定 6 施設・県指定 2 施設）のがん診療連携拠点病院があり、当院もその一施設として登録業務を行っています。

院内がん登録室では、登録精度の向上を図るため、国立がん研究センターの認定資格取得や定期的な研修への参加など、知識と技術の向上に努めています。

今後も、登録情報を適切に管理しながら、より質の高いがん診療につながるよう、院内がん登録業務の充実に取り組んでまいります。

2026 年 10 月

院内がん登録室長（病理診断科　診療部長）

林　徳眞吉

長　崎　県　病　院　企　業　団

長　崎　県　島　原　病　院

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町 7895 番地

TEL.0957-63-1145　FAX.0957-63-4864

http://shimabarabyoin.jp/

長崎県島原病院
NAGASAKI PREFECTURE SHIMABARA HOSPITAL